

21WSJの夢



ボーイスカウト静岡県連盟 浜松地区
浜松第12団ベンチャー隊 鈴木 駿

はじめに

ボーイスカウト静岡県連盟

所属団 浜松12団 氏名 鈴木 駿

1. プロジェクト実施に対する動機(ニーズの発意)

2006年8月、石川県珠洲市で開催された第14回日本ジャンボリー(14NJ)に、隊付として参加して得た経験を生かして、日本から世界へ視野を広げるようにスカウティングの幅も広げたいと思い、第21回世界スカウトジャンボリー(21WSJ)に参加を希望した。

14NJでは、日本中の多くのスカウトと交流することで得られた感動の素晴らしさを実感した。今もその思い出は、しっかりと胸に残っている。ビーバーから始めたスカウト活動の集大成として、浜松から日本、そして世界へと視点を上げ、グローバルな場所から今の自分自身を見つめ直してみたいと思う。そこから新たなスカウティングの目標が見つけれられるかもしれない。

また、14NJでは出来なかった、体験した感動をより多くの人に伝え、ジャンボリーの素晴らしさを理解してもらおう努力をしようと、ホームページを立ち上げることにした。一人でも多くの後輩にジャンボリーに参加したいと思ってもらえるように・・・

この一連の流れをプロジェクトにしてまとめていくことで、21WSJがより意義深いものとなるような気がする。ボーイスカウト運動100年のこの年に開催される記念すべき世界スカウトジャンボリーなのだから、B-Pのこと、イギリスのこと、英会話・・・しっかりと事前準備をしていくことで、ベンチャースカウトとして自信が持てるようになれると思い、このプロジェクトを立ち上げた。

2. 個人の目標(資質の面)

No.	氏名	個人の成長目標
1	鈴木 駿	積極的に多くの外国スカウトに声かけし、度胸を付けたい。

3. 挑戦するアワードおよび技能章

アワードの分野	技能章
国際文化	コンピューター章

プロジェクト企画書

テーマ 「 21WSJの夢 」

ボーイスカウト静岡県連盟
所属団 浜松12団 氏名 鈴木 駿

1. 目的

14NJでの隊付としての経験を生かし、年下をリードし世界のスカウトとの交流を促進する。そして、その活動を多くの人に紹介し、PRする。

2. 活動内容(目標)

活動	内 容	期 間	場 所
1	21WSJ事前訓練に参加し、自身でも調査して、ジャンボリーの知識を深める。	平成19年3月21日 ～7月24日	静岡、自宅
2	21WSJに参加し、国際交流をする。	平成19年7月25日 ～8月12日	イギリス
3	コンピュータ章に挑戦。	平成19年10月14 日までに取得	自宅 西村隊長宅
4	ホームページを立ち上げ、21WSJの活動を紹介する。	平成19年9月25日 までに完成	自宅
5	プロジェクト報告書	平成19年8月13日 ～10月28日	自宅

3. 期 間 平成19年3月21日(祝)～平成19年10月31日(水)

4. 予算概要

個人負担分

50万 円

合計

50万 円

5. 隊長の評価

単に海外派遣に参加するだけでなく、世界ジャンボリーをホームページで紹介しようとする意欲的企画です。

隊長名 西村 清矢

活動実施計画書①

1. 活動のテーマ	21WSJをより良きものに！
-----------	----------------

2. 活動の目的	イギリスやスカウティングについて調査し知識を深め、現地での交流や感動がより深まるようにする。
----------	--

3. 活動内容(目標) (活動1)	21WSJ、C分団 18 隊準備訓練に全参加し、派遣の意義を理解し情報を得て、自分自身の目的を明確にする。
----------------------	---

4. 行動計画(日程)

月 日	内 容	場 所
平成19年 3月21日(祝)	静岡県連主催結隊式	静岡市
4月8日(日)	第1回事前隊集会 事前調査	静岡市 自宅
5月26日(土)～ 5月27日(日)	第2回事前隊集会 事前調査	静岡市 自宅
6月24日(日)	県連主催壮行会と第3回事前隊集会、事前調査	静岡市 自宅
7月22日(土)～ 7月23日(日)	A・B・C分団合同出発直前訓練、壮行会	東京
3月21日(水)～ 7月21日(土)	英会話学習 事前調査	学校 自宅

5. 人的・物的資源	本 「ボーイスカウトが目指すもの」 インターネット
------------	------------------------------

7. 期 間	平成19年3月21日～7月21日
--------	------------------

8. 予算概要	静岡市までの交通費 約1万円	合計 2万円
	東京までの交通費 約1万円	

活動実施報告書①

1. 活動のテーマ	21WSJをより良きものに！
2. 活動の目的	イギリスやスカウティングについて調査し知識を深め、現地での交流や感動がより深まるようにする。
3. 活動内容(目標) (活動1)	21WSJ、C分団 18 隊準備訓練に全参加し、派遣の意義を理解し情報を得て、自分自身の目的を明確にする。

4. 行動報告(日程)

月 日	内 容	場 所
平成19年 3月21日(祝)	結隊式	静岡労政会館 5階
3月25日(土)	イギリスについて調べる { イギリスの国旗 …① イギリスと日本の比較 …② (イギリス大使館の正確な情報) 英語について …③	自宅
4月8日(日)	第1回事前隊集会 21WSJプロモーションDVD	静岡県青少年 会館2階大会議室
4月15日(日)	世界ジャンボリーについて調べる 世界スカウトジャンボリーの歴史 資料④～⑩	自宅
5月26日(土)～ 5月27日(日)	第2回事前隊集会 勉強会	静岡県青少年 会館 2階大会議室 3階会議室
6月3日(日)	ギルウェルパークについて …⑪ ブラウンシー島について …⑫	自宅
6月24日(日)	第3回事前隊集会、杜行会	静岡県青少年 会館2階大会議室
7月15日(日)	100周年について …⑬ ギフト・フォー・ピースについて …⑭ 世界スカウト機構について …⑮ 世界のスカウト加盟員数 …⑯	自宅

4月18日(水)～ 7月18日(水)	学校でのリスニング授業を選択 外国人ALT パットリック先生	学校
7月22日(日)～ 7月23日(月)	派遣直前準備訓練 A・B・C分団合同結団式	国立オリンピック 記念青少年セン ター

5. 調査のまとめ

21WSJ事前隊集会での説明を受け、そのつど、気にかかっていたことを調べていき、モチベーションを高めていった。

<主な下調べ内容>

- ① イギリスについて
- ② 100周年記念事業について
- ③ 世界スカウト機構について
- ④ Gifts for Peace の意味
- ⑤ テーマ One World One Promiss の意味

世界スカウトジャンボリーのことを調べていくうちに、スカウト活動そのものの歴史やベーデン・パウエルの考えを振り返る良い機会にもなっていった。

特に、イギリススカウト連盟の「ボーイスカウトが目指すもの」

世界のボーイスカウト運動100年

という本は参考になった。

世界スカウト運動100周年の重さを強く感じるとともに、記念すべき年にイギリスのWSJに行けることになっためぐりあわせに感謝する気持ちでいっぱいになった。

健康に気を配り、感覚を研ぎすまして、見開きする全てのことを肌で感じてこなければと思う。

6. 収支報告

21WSJ事前訓練・調査

収入	支出
家から 22240円	バス代(自宅⇄浜松駅) 220円×2×3回=1320円 JR代(浜松⇄静岡) 1280円×2×4回=10240円 バス代(静岡駅⇄会場) 180円×2×3回=1080円 バス代(浜松⇄東京) 9600円
	合計 22240円

7. 反省・評価

調べる範囲を広げすぎたようで反省している。

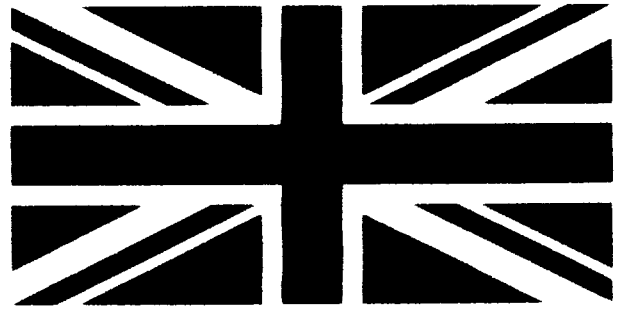
もう少し、的を絞るべきかもしれない。でも、広げたことで、思わぬ知識を得ることができたことは評価に値するのではないかと思う。

イギリスの国旗

イギリスの国旗は、ユニオン・フラッグ(英語: *Union Flag*)あるいはユニオン・ジャック(*Union Jack*)とも称される。イングランドの国旗(白地に赤い十字のセント・ジョージ・クロス)と、スコットランドの国旗(青地に白い斜め十字のセント・アンドリュース・クロス)が、イングランドとスコットランドの同君連合時代に組み合わせられて作られた。さらにアイルランド王国との合同でグレートブリテンおよびアイルランド連合王国が成立した際、アイルランドの国旗と称してアイルランドの有力諸侯だったキルデア伯(フィッツジェラルド家)の旗(白地に赤い斜め十字、セント・パトリック・クロスと呼ばれる)が組み合わせられた。

スコットランドとアイルランド(現在は北アイルランド)の扱いを平等にするため、斜線をずらしてある。このためイギリスの国旗はよく見ると非対称であるのだが、スポーツの試合などで使用する際など、イギリス国民はさして気にしていないようである。

正確には、「ユニオン・ジャック」という呼称は海軍で用いられるもので、民間には「ユニオン・フラッグ」と呼ばれている。



用途及び属性

…

縦横比

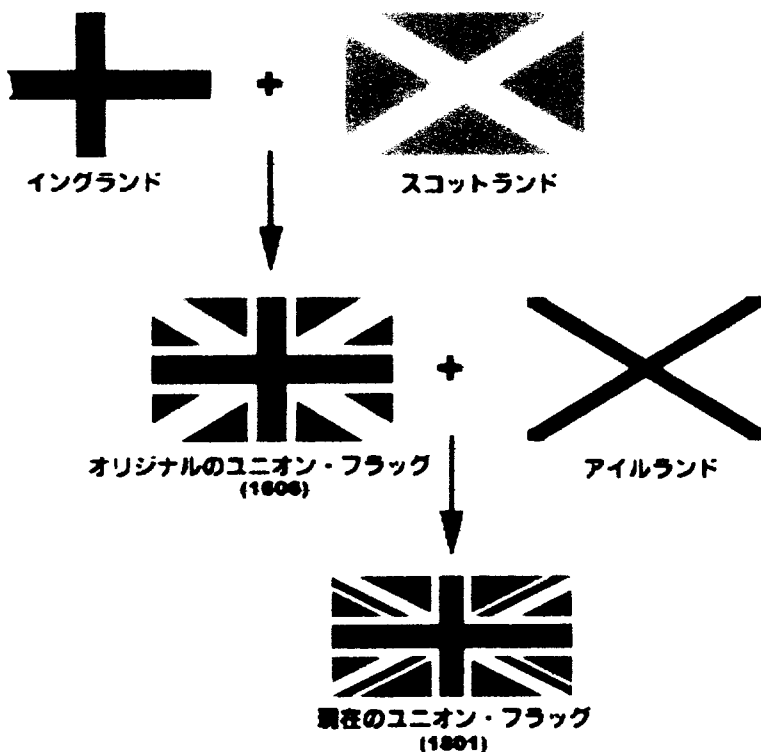
1:2

制定日

1606年4月12日(イングランド・スコットランド同君連合時代)
1801年1月1日(グレートブリテンおよびアイルランド連合王国成立時)

使用色:

- 青
- 赤
- 白



正確な情報

イングランドの南海岸からスコットランドの北海岸までの距離は1000km弱で、東西に一番広い場所の距離は500km弱です。ロンドンはベルリンやバンクーバーと同じ緯度にあります。(日本は南北の長さが3800kmで、東京はアテネやロサンゼルスと同じ緯度にあります。)

	英国	日本
最も高い山	ベンネヴィス 1343m	富士山 3,776m
最も長い川	セヴァーン川 354km	信濃川 367km
最も大きな湖	ネイ湖 396km ²	琵琶湖 670km ²
年間平均気温	ロンドン 9.7C	東京 15.6C
年間平均降雨量	ロンドン 753mm	東京 1405mm
総人口(1999年)	59,501,000	126,686,000
地域別人口	スコットランド 5,119,000 イングランド 49,753,000 ウェールズ 2,937,000 北アイルランド 1,692,000	北海道 5,683,000 本州 102,017,000 四国 4,199,000 九州 14,789,000
人口の多い上位5都市	ロンドン 7,285,000 バーミンガム 1,018,000 リーズ 725,000 グラスゴー 611,000 シェフィールド 529,000	東京 7,920,000 横浜 3,376,000 大阪 2,471,000 名古屋 2,102,000 札幌 1,801,000
1km ² あたりの人口密度	245人	340人
国土総面積	241,752km ²	378,000km ²
農業用地の比率	76%	13%
森林の比率	11%	67%
その他の土地利用の比率	13%	20%
住居の平均的な面積	97.6m ²	89.6m ²
自戸所有率	68%	60%
平均寿命 - 男性 - 女性	75歳 80歳	77歳 84歳
乗用車の台数	2400万台	7400万台
家庭の耐久消費財所有率		
- カラーTV	97%	99%
- 衛星/ケーブルTV	22%	39%
- CDプレーヤー	68%	62%
- コンピューター	32%	39%
- 自家用車	69%	84%
家庭の支出(可処分所得における比率)		
- 食品・飲料	27%	18%
- 衣料品	6%	4%
- 家賃/抵当	14%	10%
- 家具	5%	3%
- 医療費	1%	3%
- 交通費	10%	10%
- 教育費 & 娯楽費	13%	12%
家庭の貯蓄	3%	13%

Q 世界中で何人くらいの方が英語を話していますか？

- A** 英語は世界で最も広く使用されている言語の一つです。最近の推定では、約3億7500万人が第一言語として英語を話し、さらに3億7500万人ほどが第二言語として英語を話しています。7億5000万人くらいの人々が英語を外国語として話していると思われます。英語は世界の主要航空会社などや国際商業でよく使われています。世界で電子的に保存されている情報の80%以上が英語で書かれており、世界の科学者の3分の2が英語を読んでいます。インターネットを利用している推定2億人のユーザーのうち、約36%は英語を使って通信しています。英語は世界の75以上の国や地域で公用語になっているか、または特別な地位を与えられています。

英語を話していない世界の他の国や地域でも、母国語に英語の単語を採り入れています。日本人は「ヒクニック」に出かけ、イタリア人はコンピューターを 'il software' でプログラムし、ドイツ人は 'ein Image Problem' について話をし、チェコ人はハローの代わりに 'ahoy' と言います。'Ahoy' というのはイングランド人の船員が昔から使っているあいさつ用語で、海のないチェコで使われているのは興味深いことです。

Q 英語の多くの単語がスペル通りに発音されないのはなぜですか？

- A** heardに気をつけよ、恐ろしい単語、
それはbeardのように見えるが、birdのように聞こえる、
そしてdead それはbeadではなく、bedのように発音される！
お願いだから、それをdeedと言わないで！
meat、great、threatに気をつけよ、
それらはsuite、straight、debtと韻を踏んでいる。
(作者不明)

英語のスペルは最良の状況でも予測不能であり、時にはまったく無秩序である— たぶん、英国の学童や世界中の英語を学ぶ人々が同様にこのように感じているでしょう。しかし、言語研究によれば、英語にはスペルが完全に不規則な単語は約400語しかないといわれています。残念ながら、それらの単語の多くは最も頻繁に使われる単語の中に含まれています。

英語の綴字体系の問題はこの言語が1000年の期間にわたって発展するうちに生じました。若干の混乱は初期のころ、ローマ人が23文字のラテン語のアルファベットを使って古英語を書きしるそうとした時に発生しました。古英語は約40の母音と子音を含んでいました。

ノルマン征服後のフランス語の影響も英語のスペルに強い衝撃を与えました。フランス人筆記者は古英語が 'cw' を使っていた場合に 'qu' (例えばqueen) を使い、'h' の代わりに 'gh' (例えばnight) を使うなど、さまざまな変更を行いました。

1476年の印刷機の導入で、標準綴字体系が発達し始めました。この綴字体系はロンドン地区の話し言葉を反映していました。母音の発音は15世紀にさらに変化を受けましたが、印刷機の出現でスペルの変化は止まりました。以前なら、筆記者が新しい発音を反映するように新しいスペルを書き留めていたでしょうが、このため、近代のスペルは多くの点で中世の古い単語の発音を反映しています。

英語の綴字体系を改革しようとする試みは何度も行われましたが、16世紀以降これまで変更が行われていません— これは主に、みんなが同意できるような最良の代案がないからでしょう。



第1回世界スカウト・ジャンボリー

1920年ロンドンのオリンピックで、第1回世界ジャンボリーが開催されたが、それはその後にくジャンボリーとは、かなり趣の違うものだった。この第1回世界ジャンボリーは、大規模な屋内の展覧会のようなもので、目的は、一般の人々にスカウティングというものを披露し、その活動の意味や面白さを知ってもらうことだった。

スカウト・ジャンボリーは既にイギリスでは行われていたが、バーミンガムで開催されたB-P（第1次世界大戦が終結するまでの期間、1918年6月）スカウト連戦10周年を祝して国際的な大会を開催したいと考えたのが、彼はその目的について次のように語っている。

われわれの理想と活動を世界に知ってもらうこと、世界中の若い人々に兄弟愛を喚起し、国際連盟をより強固なものにすること、善良で幸福な市民であるために必要な基礎を、実践を通して教えること。

さらに彼は次のようなプログラムを提案している。
「スカウトたちの製作物の展示、機材や備品および資料展示、一般の人々を対象にしたスカウト活動の演習、スカウト技能の競技会」

しかし、国際大会を計画して1年以上も経たず、スカウトたちが海外から招待するようになると、後から思いついた

プログラム

ジャンボリーは1920年7月31日(土曜日)に開会した。その翌日、各国の参加者による大行進が行われたが、各国の旗がはためくこの行進は1万5000人の人々が見守った。

1日曜日になると大混雑は避けられなくなり、激しい雨が降った日や晴天下のキートンズ場は、混雑して一部は閉鎖したが、一方オールド・ヒルズの会場には大混雑はなかった。この日だけで1万4000人が来場した。

「ジャンボリー」の中で人気の高かったもののひとつが、長距離

走競走競争という新種の競技だった。若い若者がメーデージャンボリーをスカウトたちが運営している競技会、イギリス国内の8つの州が運営している。そのうちの一つは、ブライアンツ・ロードとよばれる北イングリッシュ、東英イングリッシュ、ウーラムズを出発するコースで、他方のコースは、ヒルズ・ヒルズとよばれるオールド・ヒルズからオールド・ヒルズを出発するコースだ。

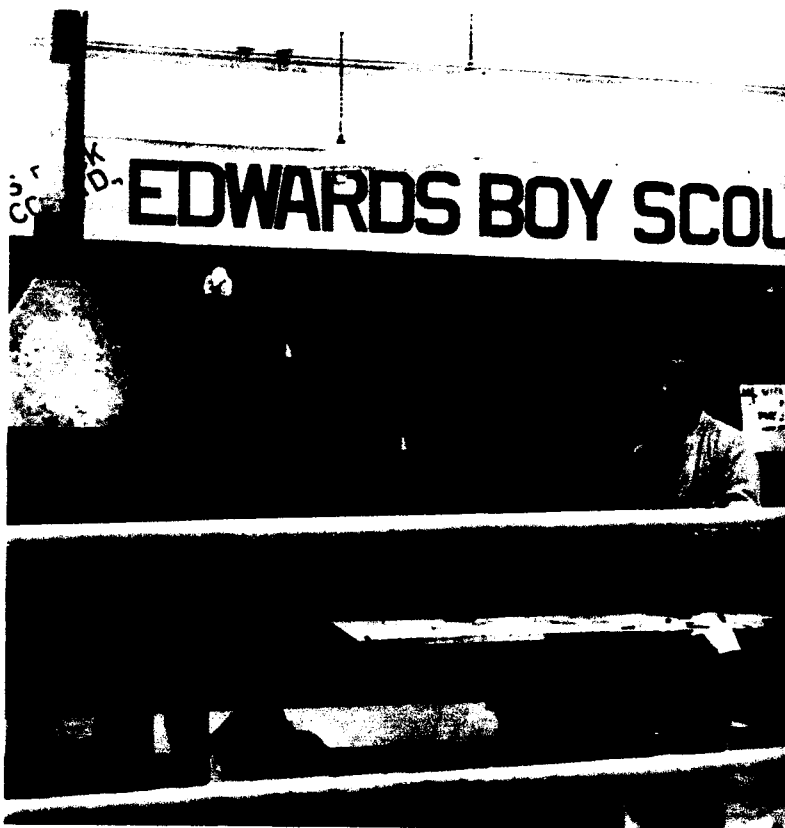
スカウトたちは、競走のペースを程度にコントロールしていることになっていて、学校の体育やスカウトの練習で

世界ジャンボリー

開催年	開催地
第1回 1920	ロンドン (イギリス)
第2回 1924	エルメルンデン (デンマーク)
第3回 1929	バーケンヘッド (イギリス)
第4回 1933	ゲフェレー (ハンガリー)
第5回 1937	ワーグレンバンク (オランダ)
第6回 1947	モワソン (フランス)
第7回 1951	パートイシカル (オーストリア)
第8回 1955	サイアガ・オン・ザ・レイク (カナダ)
第9回 1957	サートン・ニュー・ロード (イギリス)
第10回 1959	ラグナ (フィリピン)
第11回 1963	マドロン (ギリシャ)
第12回 1967	フアラガット州立公園 (オーストラリア)
第13回 1971	朝鮮高原 (日本)
第14回 1975	コルバンメル (ベルギー)
第15回 1979	世界ジャンボリー一年 *注
第15回 1983	カナダスキス (カナダ)
第16回 1987	シドニー (オーストラリア)
第17回 1991	雪岳山国立公園 (大韓民国)
第18回 1995	フラーボランド (オランダ)
第19回 1998-9	ピカルキン (ギリ)
第20回 2002-3	サッタヒーブ (タイ王国)
第21回 2007	チェルムスフォード (イギリス)

【*注】 第15回世界ジャンボリーは、1979年に予定で開催される予定だったが、しかしその年、国連がクーデターで国を追われ、ジャンボリーは延期された。その年は、世界ジャンボリー一年とされ、スカウトたちが国際的な経験を免れることがないよう、世界各地で小規模の催しが開催された。

CARPENTERS



また、当時の大規模な、時の目撃者として「マニラ」の長い距離を渡り抜けたことがないという点も注目される。また、当時の記録は「マニラ」の記録が見られるが、その中には、当時の大規模な、時の目撃者としての記録が見られる。また、当時の記録は「マニラ」の記録が見られるが、その中には、当時の大規模な、時の目撃者としての記録が見られる。

また、当時の大規模な、時の目撃者としての記録が見られる。また、当時の記録は「マニラ」の記録が見られるが、その中には、当時の大規模な、時の目撃者としての記録が見られる。また、当時の記録は「マニラ」の記録が見られるが、その中には、当時の大規模な、時の目撃者としての記録が見られる。

また、当時の大規模な、時の目撃者としての記録が見られる。また、当時の記録は「マニラ」の記録が見られるが、その中には、当時の大規模な、時の目撃者としての記録が見られる。また、当時の記録は「マニラ」の記録が見られるが、その中には、当時の大規模な、時の目撃者としての記録が見られる。

また、当時の大規模な、時の目撃者としての記録が見られる。また、当時の記録は「マニラ」の記録が見られるが、その中には、当時の大規模な、時の目撃者としての記録が見られる。また、当時の記録は「マニラ」の記録が見られるが、その中には、当時の大規模な、時の目撃者としての記録が見られる。

また、当時の大規模な、時の目撃者としての記録が見られる。また、当時の記録は「マニラ」の記録が見られるが、その中には、当時の大規模な、時の目撃者としての記録が見られる。また、当時の記録は「マニラ」の記録が見られるが、その中には、当時の大規模な、時の目撃者としての記録が見られる。



その日、大規模な舞踏会が行われ、その後も、戦争で亡くなった人々のために募金を呼びかけた。また、その後も、戦争で亡くなった人々のために募金を呼びかけた。また、その後も、戦争で亡くなった人々のために募金を呼びかけた。

閉会式の言葉

スカウトの兄弟諸君、私は皆さんに大事な選択をお願いしたい。世界の人々には、言葉や体格の違いがあるように、思想や感情にも違いがあります。もしある国民が自分たちの考えを他国の人々に押しつけようとするれば、悲惨な結果が待っていることを戦争が教えてくれました。しかしジャンボリーは、私たちに教えてくれたのです。我慢し、譲り合うことができれば、そこには共感と調和が生まれるのです。

皆さんの同意がここに得られるなら、漸近的な決意をもって、私たちは今日ここから出発しようではありませんか。世界に広がるスカウトの兄弟愛を通して、自分自身のなかにも友人たちの間にも同胞意識を育て、世界に平和と幸福をもたらす、世界中の人々の間に友好の輪を広げます。スカウト兄弟諸君、さあ、答えてください。諸君は、私と心をひとつにして出発してくれますか？

上:その後のジャンボリーでも恒例となった記念品の数々。新聞、サテライール、サウトやジャンボリーの名刺、招待状、記念の額など。

上、下:オランダの大ホールでは、スカウトたちのさまざまな製作物の展示と実演が行われた。

第1回世界ジャンボリーの最後に行われたB.Pのスピーチ。1920年8月20日、ロンドンのオランダにて。

世界ジャンボリーが終わって

第1回世界ジャンボリーは開催の当初、数を開きながら、徐々に人々の関心を呼びつけた大会でもあった。展示場という点には限界があり、野外活動というスカウティングの真髄を十分に披露できなかったのもある。そのため、その後のジャンボリーはすべてキャンプ地で営まれるようになった。また、観客の心をひきつけたのは、展示物の豪華さよりも参加している人々の盛り上がりであった。ジャンボリーは、さまざまな人々から集まった若者同士が友情を確かめあう場であり、ジャンボリー成功のキモのひとつにあると語り続けている。

ジャンボリーは、国際会議後の世界スカウト会議の設立という成果を生み出した。ジャンボリー開催の2日前、会議が開催され、国際的な組織を築くこと、そして2年毎に国際会議を開催することが決定されたのである。オランダのハーグで開かれたことにより、事務局が設立され、ロンドンのパークマン宮殿通称あるイギリス・ボーイスカウト連盟の中に事務局が置かれた。その仕事の手始めが、世界のスカウト活動に関する年刊発行の季刊誌「ジャンボリー」を創刊することだった。

そしてついに、ジャンボリーが歴史的結果があった。赤字である。この赤字により、スカウト運動はほぼ破産という状態に陥っていた。資金の不足は資金を持っていないのはその運動が、財政危機に陥ったのである。

1年経て、ボーイの数が増加し始めたことがわかり、スカウトの数が減少してしまっている。しかし、日本はこれらの危機に対処せず、むしろむしろ野心的な企画を立ち上げていた。

♣スカウティングの普及

この表は、近年世界スカウト機構（WOSM）に公認された公式の設立年および各国のスカウト組織が保有する、記録上公称している設立年に基づく資料を編纂したものである。設立年には、各種の理由から異論が寄せられている。例えば、ある国では正式な組織が設立される以前からスカウティングが長年行われていたり、また一国の中のいくつかの市町村ではスカウティングが行われているのに、別の地域では活動が行われていなかったということが見受けられるためである。国境の変更やスカウティングの解散、再建が生じているため、いくつかの地域では現在公式に認められている時期より、早期から活動が行われていた可能性もある。これらの事情から、この表はおおよその目安としていただきたい。

設立年	国名または地域名
1907	イギリス
1908	オーストラリア、カナダ、アイルランド、マルタ、 ニュージーランド、南アフリカ共和国
1909	ベルギー、チリ、デンマーク、ガイアナ、インド、ロシア、 シエラレオネ、ジンバブエ
1910	アルメニア、ブラジル、フィンランド、ギリシャ、 ジャマイカ、ケニア、オランダ、シンガポール、アメリカ
1911	ベリーズ、ブルガリア、チェコ、フランス、ドイツ、 香港（中国）、マレーシア、ノルウェー、スロバキア、 スウェーデン、タイ、トリニダード・トバゴ
1912	アルゼンチン、バルバドス、中国（台湾スカウト連盟。現在は 台湾を本拠地とする）、エストニア、ガーナ、ハンガリー、 アイスランド、インドネシア、イタリア、レバノン、 モーリシャス、パレスチナ自治区、スペイン、スリランカ、 スイス
1913	バハマ、キプロス、ポルトガル、スロバキア、 ベネズエラ
1914	フィジー、ルクセンブルグ、ルーマニア
1915	ボリビア、コスタリカ、クロアチア、ナイジェリア、 セルビア・モンテネグロ、スロベニア
1916	ベルー
1917	コロンビア、ラトビア、ナミビア
1918	リトアニア
1919	ポーランド
1920	エクアドル、イスラエル、メキシコ、トーゴ
1921	ガンビア、マケドニア、マダガスカル
1922	日本、韓国、リベリア
1923	フィリピン、トルコ
1924	コンゴ（コンゴ民主共和国）、グレナダ、パナマ、 セントビンセント・グレナディーン、スリナム
1925	ウガンダ
1926	ドミニカ共和国、パプアニューギニア
1928	アルバニア、グアテマラ、スウヰランド
1929	タンザニア
1930	セネガル、ザンビア
1931	リヒテンシュタイン
1932	ベナン、ハイチ
1933	ブルネイ、モロッコ
1934	チュニジア
1935	セントルシア、スーダン
1936	ボツワナ、ガボン、レソト
1937	カメルーン、コートジボワール、ニカラグア
1938	エルサルバドル
1939	アルジェリア
1940	ブルンジ、ルワンダ
1943	ブルキナ・ファソ
1946	モーリタニア、ウルグアイ
1947	ニジェール、パキスタン
1948	オマーン
1950	エチオピア
1952	ホンジュラス、クウェート、ネパール
1953	バーレーン
1954	ヨルダン、リビア、イエメン
1956	カタール
1960	チャド、モザンビーク、パラグアイ
1961	サウジアラビア
1963	モルディブ
1972	バングラデシュ、アラブ首長国連邦
1973	サンマリノ
1975	コモロ
1990	モナコ
1991	ブータン、モルドバ、タジキスタン
1992	モンゴル
1993	キリバス
1994	グルジア
1997	アゼルバイジャン
1998	アンゴラ
1999	ボスニア・ヘルツェゴビナ
2002	カボベルデ、セーシェル
2005	ギニア



スカウティングの成熟と 1929年世界ジャンボリー

スカウティングは1928年に21回目という記念すべき節目の創立記念日を迎えた。この短い期間で、ブラウンシー島の20人のキャンプから始まった活動が、世界に200万人の加盟員を擁する運動へと成長したのである。

しかし1928年にスカウト誕生21周年を祝うのではなく、もう1年経期することになった。スカウティングの舞台となり、その運動を世界に広める原動力になった『スカウティング・フォア・ボーイズ』出版21周年を記念して、祝賀の行事を行うことに決定したのである。そのためには何か特別な行事が必要だった。そこでスカウティングが生まれただけで第3回世界スカウト・ジャンボリーを開催する計画が立てられた。

アローパーク

ジャンボリー開催地は、シバプールにほど近いパークヘッドの市長からアローパークを開催場所として提供する旨の申し出があり、早くに決まった。アローパークは、182ヘクタール（450エーカー）の敷地面積に、集会や行事を行うためのホールを備え、さらに交通の便もよく、近くには港もあった。

バーテン・パウエル（以下B-P）はアローパークという名前からヒントを得て、ジャンボリーのシンボルを「金の矢（ゴールデン・アロー）」とすることを思いついた。65を超える



から3万人以上のスカウトが参加し、そして激しい嵐雨で
がひどいぬかるみ状態になっていたにもかかわらず、32
もの旗が訪れたのである。一番ひどい被害を受けたの
ランスのキャンプだったが、スカウトたちが作ったエッ
ル塔は、ぬかるみの中に堂々とそびえ立っていた。ぬか
り雨にくじけるどころか、彼らの士気はいよいよ高まっ
たのである。

式
29年7月31日、イギリス・スカウト連盟総裁のリン
ンが開会を宣言して、第3回世界スカウト・ジャンボ
リ開幕した
の開始を知らせる合図として、1907年のブラウンシ
ンその他大きな行事で鳴り響いたクードゥーの角笛が、
こよって吹き鳴らされた。その後のスピーチで、その日
候とジャンボリーの度に降る雨について、B-Pは別談
て次のように語った。
「まじいことすくめではいけません。だから私がをを

上:ジャンボリーの開催期間
中悪天候が続いたが、65カ
国からの参加者の士気がく
じかれるようなことはなか
りた

左ページ:雨で会場がぬかる
んでも、各国のスカウトた
ちは意気揚々と旗を掲げて
パレードした

下:荷車に乗せてもらう少女
たち 1929年世界ジャンボ
リ 会場のアローパークで



降らせたのです。天気のいい日のスカウト・リンクは、誰にで
もできることです。悪条件の中で、いかに最善を尽くすかが
大切なのです」

世界の縮図

世界中から集まったさまざまな民族、人種のスカウトたち
が、旗を掲げて行進を行った。あるジャーナリストが次のよう
に書いている

グレーのシャツを着た南アフリカ人、ハレスチナのアッ
ブ人、白い衣装を着たモロッコとアルジェリアの人々、緑
のターバンを巻いたインド人、ゴールド・コーストとナイ
ジェリアから来た少年たち

ジャマイカ、ケニア、バルバドス、セイロンなどの大英
帝国の国々、中南米のチリ、ブラジルからやって来た華
僑代表団、スペイン、フランス、オランダ、デンマーク、ノ
ルウェー、ドイツなど、長い歴史を誇る国々からやって来
た若者たち

そしてチェコスロバキア、エストニア、ラトヴィア、リ
トニアなどの新しい国々からの力強い代表団。世界の少
年たちの栄光と輝きをイギリスの公園で見る事ができま
した

それは、まさに世界の縮図といえるものでした。そして、
彼らの姿を通して、情熱にあふれ、雄人で、勇気に満ちた
彼らの未来を垣間見ることができたのです

そして、日に焼け、なめし革のような肌をした白髪のか
れた老人が、スカウト帽の下で目を輝かせながら、思い描
いていたとおりの行進が目の前に繰り広げられているの
を見つめていました。永遠の少年の心を持ち、そして世界に
果食っていた幽霊と悪魔を追い払い、人類を仲間意識とい
う堅い絆で結びつける魔法のような力を持ったB-Pの思想
が、世界を動かしているのです

これを書いている今も、私の耳にはとどろくような喝采
が聞こえてきます。あらゆる国々の若く忠誠な騎士から、十
べてを知り尽くした老練の騎士までもが総長を称える、喝
采が聞こえてくるのです

今宵も彼らは、キャンプファイアの周りで、彼らの国の
歌を歌い、古くから伝わる踊りを踊っているでしょう。お
とぎ話のような世界が、現実になったのです

ギルウェル・パーク

ギルウェル・パーク(Gilwell Park)は、イギリスのロンドン東部チンフォード(Chingford)、エッピングの森(Epping Forest)にある広さ108エーカーの土地。ボーイスカウトの指導者訓練センター、国際キャンプ場がある。

この土地は、かつて、ヘンリー8世に所有されており、彼の息子エドワードのための猟小屋があった。

1919年、W・F・マクラレンが1万ポンドで購入し、指導者訓練の場として英国ボーイスカウト連盟に寄贈した。ロバート・ベーデン＝パウエル卿は、この好意に感謝するため、マクラレン家のキルトの紋様をつけたギルウェル・スカーフを作り継承することとした。

現在、ギルウェル・パークはボーイスカウトのリーダー研修のための拠点となっている。初代所長フリンシス・ギドニー(Francis Gidney)が1919年9月に最初のウッドバッジコース(Wood Badge course)を行った。毎年世界中から多数のスカウトのリーダーたちが研修を行うためにここを訪れる。

キャンプ場内をグリニッジ子午線が通っている。

また、ボーイスカウトに関係の無い活動(例えば、会議や結婚披露宴など)のために借りることも可能である。

主な施設

- ギルウェル・ホール: 白いペンキ塗の2階建て。別名「ギルウェルのホワイトハウス」。
- ギルウェル・ミュージアム
- アマチュア無線局: コールサインはG3WGP、GB2GP、GB3GP。
- バッファロー像の芝生: 無名スカウトの善行に感謝して米国ボーイスカウト連盟から寄贈されたバッファローの銅像がある。
- 爆弾の池(Bomb Hole): 第二次世界大戦時に、ドイツ軍が投下した爆弾の跡に水が溜まってできた池。
- トレーニンググラウンド
- 大小さまざまなキャンプサイト、広場

などがある。

ブラウンシー島

ブラウンシー島(ブラウンシーとう、Brownsea Island)は、イギリスの小島。

ロンドンの南西約100km、イギリス本島の南、イギリス海峡に面したボーンマス(Bournemouth)の西側、プール湾(Poole Harbour)内に浮かぶ八つの島のうち最大のもので、長径2km、短径1kmほどの東西に長い楕円形をしている。島内には二つの小さな湖がある。

ローマ時代のガレー船や古代デンマークの帆船が基地としており、クヌート王が財宝を隠したとの伝説もある。15世紀には海賊ハリー・ページの隠れ家があり、16世紀には密輸業者がアジトとしていた。1901年以降はバン・ラルート家の地所となっていた。現在、島のほとんどはイギリスのナショナル・トラストによって所有され、自然保護区に指定されている。

この小島は、ボーイスカウト運動の始まりの地として有名である。1907年8月初旬、ロバート・ベーン・シニパウエル卿と20名^[1]の少年たちがこの島で8日間の実験キャンプを行った。これは「スカウトの最初のキャンプ(The first Scout camp)」と呼ばれ、現在この島にはそれを記念する石碑(スカウト・メモリアル・ストーン)が立っている。

島にはブラウンシー野外劇場があり、毎年、シェイクスピア劇の公演が行われる。

100周年とは

1907年8月、ベーデンパウエルがイギリスのブラウンシー島で20人の少年たちを導いて突撃キャンプを行いました。この経験から「スカウティング・フォア・ボーイズ」を出版し、今私たちが参加しているスカウト運動が発足しました。

2007年はスカウト運動が創始されて100周年を迎えます。この意義ある年を中心に100周年記念事業が展開されます。

テーマ

世界スカウト機構が示す100周年のテーマは「2007 : One World One Promise」です。日本連盟では、「2007 : ひとつの世界 ひとつのちかい」としました。

スカウト運動が創始して100周年。世界216の国と地域で2800万人以上のスカウト兄弟姉妹が、共に携えているスカウト精神を発揮し、身近な地域社会で、また、地球規模で、世界中のスカウトが結束して、より良い未来を築きあげる諸事業に参加しましょう。

世界各国で実施する事業

スカウト運動創始100周年の年である2007年を中心に、世界スカウト機構が提唱する主な事業は次のとおりです。

1. Gifts for Peace(ギフト フォー ピース)
第37回世界スカウト会議で各国連盟による「ギフトフォーピース」宣言を実施
以後各国内で事業を展開する
2. 第21回世界スカウトジャンボリー
2007年7月～8月 イギリス・ハイランズパーク
3. サンライズ・セレモニー
4. 各記念行事

ギフト・フォー・ピースとは

ギフト・フォー・ピースとは何でしょう。それは、みんなで平和について考え、自分たちでできることから実践していくということです。その内容は、必ずしも新しい活動をしようというのではなく、日頃のスカウト活動を通じて、すでに行っている内容でもあります。私たち一人ひとりにとって、もっとも大切な「世界が平和であること」を考え、実践していこうというものです。

ギフト・フォー・ピースは、ボーイスカウト運動創始100周年を契機としたボーイスカウトでの世界共通の取り組みの一つです。日本ではボーイスカウトとピースパックプロジェクトなどで平和提唱事業を積極的に展開しているガールスカウトとが協働してこの事業を進めていきます。

一人ひとりが平和に向けた自らの役割に気づく機会

「贈りもの」という意味で「ギフト」(gifts)という言葉は使われますが、ギフトには「神様から授けられたもの」「天賦の才」という意味もあります。そして、これは特別な人だけに与えられるものではありません。誰とでもすぐに友だちになれること、どんな困難にも笑顔を絶やさずにいられること、そのようなこともその人に授けられたギフトといえます。しかし、自分のギフトに気づかず、何もしなければ、残念ながら何も起こることはないでしょう。自分のギフトに気づき、それをどのように世の中に還元するのか、特に平和な世界を築くためにどのように使うのかを考え、そしてどのように行動するか、これがギフト・フォー・ピースの目指すものです。

スカウティングは、「よりよき世界を築く」ことを願うものです。

それぞれの国、地域のスカウト組織は、青少年たちがそれぞれの社会に貢献する、積極的な市民として活躍できるように活動を展開しています。スカウトたちは「ちかいとおきて」を実践しながら、それぞれの地域社会に役立つようなさまざまな活動にも意欲的に取り組んでいます。

2007年、スカウトの100周年。この記念すべき年に、ぜひ全世界のスカウトたちと一緒に、日本のスカウト・指導者全員が必ず「世界の平和」について考える機会を持ちましょう。

よりよき世界、より平和な世界を築くために、スカウト一人ひとりが自分たちのギフトに、特にスカウト活動の中で培った力に気づくことができるよう、活動を展開していきましょう。

ギフト・フォー・ピース実行委員会の声明(2005年)

このギフト・フォー・ピースを通じて、私たちのスカウト活動が「平和」へとつながるものであることを強く意識し、私たち一人ひとりが、「平和」について深く考えます。

ボーイスカウト、ガールスカウトが互いに協力し合い、自ら「平和」を求める行動を起こします。

このギフト・フォー・ピースプロジェクトを、私たちの周囲のさまざまな人びとに対して広く発信し、共に取り組み、すべての人びとにとって平和な世界になるよう、社会に貢献します。

世界スカウト機構

世界スカウト機構(せかいスカウトきこう、*World Organization of the Scout Movement*。略称: WOSM)は、スカウト運動を統括する世界最大の青少年団体。

2006年現在、世界スカウト機構には、155カ国と26地域が加盟しており、2800万人以上の少年少女が加盟員として存在する。(これ以外に世界スカウト機構に未加盟でスカウト活動をしている国が35カ国存在する。)^[1]

「世界スカウト会議」(総会)、「世界スカウト委員会」(理事会)、「世界スカウト事務局」の3つの主要機関からなる。3年に一度、世界の各地で世界会議(円卓会議)が行われ、年に一度以上、世界委員会が行われる。

本部である世界スカウト事務局は、スイスのジュネーヴに置かれている。

世界を6つの地域に分け、それぞれに事務局を置いている。

- アフリカ地域 (African Scout Region): ナイロビ(ケニア)
- 中近東(アラブ)地域 (Arab Scout Region): カイロ(エジプト)
- アジア・太平洋地域 (Asia-Pacific Scout Region): マニラ(フィリピン)
- ユーラシア地域 (Eurasia Scout Region): グルズフ(ウクライナ)
- ヨーロッパ地域 (European Scout Region): ジュネーヴ(スイス)
- インターアメリカ地域 (Interamerican Scout Region): サンティアゴ(チリ)

◆組織

世界のボーイスカウト運動をとりまとめる組織を世界スカウト機構という。世界スカウト機構は、世界スカウト会、世界スカウト委員会、世界スカウト事務局の3つの主要機関からなり、非政治的国際組織である。

◆財政

世界スカウト事務局の運営は、各加盟国スカウト連盟からの人数割りに基づく年間登録料により資金の一部を調達している。その他の収入としては、財団、企業、開発機関、個人からの寄付を受けている。いくつかの豊かな国のスカウト連盟は、国家的、または国際的な基金を設立しており、開発の遅れた国や地域の兄弟スカウトたちの支援に資金を役立てている。

世界スカウト機構は、世界スカウト財団からの財政支援も受けている。そのために世界スカウト財団は、現在も基本財産を蓄積中である。世界スカウト財団は寄付金を継続的に投資して、その果実を世界スカウト機構へ恒常的に繰入れている。同財団はまた、国際スカウティングを支援するために、基本財産へ組み入れる寄付以外にも寄付金を受け付けている。名誉会長には、スウェーデン国王のグスタフ・カール16世を迎えている。

世界のスカウト加盟員数 (2005年)

イギリス・スカウト連盟調べ。2005年現在の加盟員数です。*ただし、日本の数字は2007年3月末現在の(財)ボーイスカウト日本連盟の加盟員数です。国名は、日本の外務省の呼び名に合わせた正式名称です。ただし、United Kingdomはイギリス、United Statesはアメリカ合衆国にしました。

国名	加盟員数(人)	国名	加盟員数(人)	国名	加盟員数(人)
アイスランド共和国	1,526	ザンビア共和国	7,427	バルバドス	3,032
アイルランド	36,783	サンマリノ共和国	159	パレスチナ自治政府	20,275
アゼルバイジャン共和国	1,414	シエラレオネ共和国	7,902	ハンガリー共和国	11,243
アメリカ合衆国	6,239,435	ジャマイカ	6,272	バングラディッシュ人民共和国	908,435
アラブ首長国連邦	5,824	シンガポール共和国	11,163	フィジー諸島共和国	2,821
アルジェリア民主人民共和国	11,120	ジンバブエ共和国	1,612	フィリピン共和国	1,956,131
アルゼンチン共和国	44,981	スイス連邦	52,349	フィンランド共和国	26,885
アルバニア共和国	1,730	スウェーデン王国	60,122	ブータン王国	6,716
アルメニア共和国	2,256	スーダン共和国	13,550	ブラジル連邦共和国	66,375
アンゴラ共和国	13,777	スペイン	74,581	フランス共和国	102,405
イエメン共和国	6,481	スリナム共和国	2,601	ブルガリア共和国	1,832
イギリス	498,888	スリランカ民主社会主義共和国	21,653	ブルキナ・ファソ	10,165
イスラエル国	21,920	スロバキア共和国	4,118	ブルネイ・ダルサラーム国	2,772
イタリア共和国	100,675	スロベニア共和国	6,357	ブルンジ共和国	6,661
インド	2,138,015	スワジランド王国	4,994	ベナン共和国	19,605
インドネシア共和国	8,909,435	セーシェル共和国	データ(情報)なし	ベネズエラ・ボリバル共和国	14,513
ウガンダ共和国	77,894	セネガル共和国	26,373	ベリーズ	1,211
ウルグアイ東方共和国	3,965	セルビア・モンテネグロ	30,493	ベルー共和国	12,677
エクアドル共和国	4,132	セントビンセントおよびグレナディーン諸島	541	ベルギー王国	88,271
エジプト・アラブ共和国	74,598	タイ王国	1,305,027	ポーランド共和国	85,822
エストニア共和国	1,167	大韓民国(韓国)	252,157	ボスニア・ヘルツェゴビナ共和国	1,514
エチオピア連邦民主共和国	1,000	大リビア・アラブ社会主義人民ジャマーヒリーヤ国	13,698	ボツワナ共和国	4,660
エルサルバドル共和国	3,970	台湾(中国)	69,452	ボリビア共和国	7,521
オーストラリア連邦	98,084	タジキスタン共和国	1,504	ポルトガル共和国	70,863
オーストリア共和国	13,785	タンザニア連邦共和国	102,739	香港(中国)	74,147
オマーン国	10,654	チェコ共和国	26,435	ホンジュラス共和国	5,174
オランダ王国	57,484	チャド共和国	8,132	マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	1,988
ガーナ共和国	2,311	チュニジア共和国	28,483	マダガスカル共和国	9,473
カーボベルデ共和国	1,500	チリ共和国	33,812	マルタ共和国	2,531
ガイアナ協同共和国	294	デンマーク王国	47,475	マレーシア	96,893
カタール国	3,244	ドイツ連邦共和国	123,937	南アフリカ共和国	13,118
カナ	212,259	トーゴ共和国	8,890	メキシコ合衆国	39,327
ガボン共和国	3,835	ドミニカ国	1,100	モーリシャス共和国	3,076
カメルーン連邦共和国	6,535	ドミニカ共和国	8,702	モーリタニア・イスラム共和国	3,790
ガンビア共和国	15,632	トリニダード・トバゴ共和国	4,655	モザンビーク共和国	16,675
キプロス共和国	4,478	トルコ共和国	8,174	モナコ公国	49
ギリシャ共和国	18,992	ナイジェリア連邦共和国	46,701	モルディブ共和国	4,518
キリバス共和国	1,333	ナミビア共和国	1,816	モルドバ共和国	1,540
グアテマラ共和国	11,395	ニカラグア共和国	2,056	モロッコ王国	12,304
クウェート国	6,061	ニジェール共和国	4,352	モンゴル国	8,655
グルジア	1,092	*日本	180,466	ヨルダン・ハシェミット王国	15,538
グレナダ	1,665	ニュージーランド	23,537	ラトビア共和国	1,179
クロアチア共和国	4,068	ネパール	12,341	リトアニア共和国	1,500
ケニア共和国	151,722	ノルウェー王国	19,929	リヒテンシュタイン公国	752
コートジボアール共和国	6,436	バーレーン国	1,820	リベリア共和国	2,418
コスタリカ共和国	9,752	ハイチ共和国	9,859	ルーマニア	4,930
コモロ・イスラム連邦共和国	2,200	パキスタン・イスラム共和国	526,403	ルクセンブルク大公国	5,418
コロンビア共和国	12,808	パナマ共和国	2,263	ルワンダ	18,884
コンゴ民主共和国	62,842	バハマ国	729	レソト王国	371
サウジアラビア王国	19,267	バプアニューギニア独立国	2,811	レバノン共和国	14,334
サンタルチア	393	パラグアイ共和国	1,000	ロシア連邦	14,000

活動実施計画書②

1. 活動のテーマ	友だちの輪を世界に広げよう!
-----------	----------------

2. 活動の目的	国際交流することで、自分の立場を見直す。
----------	----------------------

3. 活動内容(目標) (活動2)	積極的にプログラムに参加し、できる限り多くの国のスカウトと笑顔で交流する。
----------------------	---------------------------------------

4. 行動計画(日程)

月 日	内 容	場 所
7月24日(火)～ 7月26日(木)	エウボン地区BSと交流	エウボン スカウトハウス
7月27日(金)～ 8月7日(火)	21WSJ参加	チェルムスフォードの ハイランズパーク
8月8日(水)～ 8月12日(日)	ブラウンシー島見学 ロンドン観光	ブラウンシー島 ロンドン観光
8月13日(月)～ 8月31日(金)	活動実施報告書作成	自宅

5. 人的・物的資源	キャンプ装備
------------	--------

6. 期 間	平成19年7月24日(火)～8月12日(日)
--------	------------------------

7. 予算概要	参加費 49万円	合計 51万円
	小遣い 3万円	

活動実施報告書②

1. 活動のテーマ	友だちの輪を世界に広げよう！
2. 活動の目的	国際交流することで、自分の立場を見直す。
3. 活動内容(目標) (活動2)	積極的にプログラムに参加し、できる限り多くの国のスカウトと笑顔で交流する。

4. 行動報告 (日程は別紙参照)

国際交流の場として

- ① プログラム トラッシュ(ごみ利用) ……国際混合班
イギリス、フランス、ドイツ、アメリカ、タイのスカウトとのグループで廃品を使ってアートをつくったり、楽器にして音楽を楽しんだ。クイズ大会に挑戦。仲間意識が強くなれ、仲良しになった。
- ② スプラッシュ
オーストラリアのスカウトと協力していかだをつくり、ボール運びのゲームをした。
- ③ 奉仕活動
泥沼掃除をし、ハイテンションな外国スカウトと泥のかけあいになった。
- ④ ブラジルとサッカーをした
- ⑤ ライブでたくさんの外国スカウトと盛り上がった
- ⑥ スカウトハウスでドイツ隊・イギリス隊と交流
- ⑦ サインの交換
会場を歩き交うスカウトと気軽にあいさつができ、Tシャツなど物品交換をしながら交流
- ⑧ フードフェスティバル
日本食の説明や折り紙指導

5. まとめ(反省・評価を含む)

会場内はフレンドリーな空気にみちあふれ、平和で、民族、宗教、人種の違いなど全く関係なく、世界はひとつ…つながっていると強く感じられる。

この平和な空気が地球全体に広まれば何て Happy なのだろう…こことはあまりにも違う悲惨な世界が多いことを思うと哀しくなり、複雑な気持ちになった。
ここに来られる幸せを感じる。

交流・交歓を通じ、言葉・人種・習慣・宗教などの違いを乗り越えられる「友情」が存在すると強く感じられた。

ジャンボリー会場では、誰かれとなく、「ジャンボー」と声をかければ「ジャンボー」とかえってくる。あちこちで交わされているフレンドリーなふれあい。英語ができないひげめなど感じることなく、笑顔とジェスチャーで何とかなる。でも、やはり、深く知り合うためには、会話力が必要。

度胸をつけるためにも、一人でも多くの外国のスカウトに声をかけようと思い、常にサイン用ネッカーとペンを持ち歩き、機会あるごとに、サインをしてもらい、集めた数が170人、かなりがんばった。ただ、サインしてもらっただけではなく、ある程度の会話をし、こちらサインをしたりするので、気軽に交流ができるようになった。
アドレスの交換もしたが、アメリカにいるペンパルとのやりとりを考えると、少し気が重くなる。何回も気楽に続けられる英語力が身につけていないのだ。

イギリスのスカウトとの会話にブラウンシー島のことがでてきて、とても誇りに思っているようだった。興味をもって、ブラウンシー島に行ったのだが、予想以上に良いところだった。自然がしっかり残され、かつ、守られているのは、ナショナルトラストのおかげらしい。ここだけではなく、イギリスには、自然や古い建物が大切にされていると感じられた。

帰国後、ナショナルトラストについて調べてみた。
資料は別紙参照。

日本では、富士山にもあり、とても共鳴をおぼえた。
次の日本ジャンボリーは朝霧なので、富士山ナショナルトラストに協力して、富士山の自然を守り、日本ジャンボリーではより美しい富士山を日本中のスカウトにみてもらいたいと思った。

多くの国のスカウトとふれあい、国によってスカウト活動が違うのに興味をもち、帰国後、本で調べてみた。
印象に残った国をコピーした。(別紙)

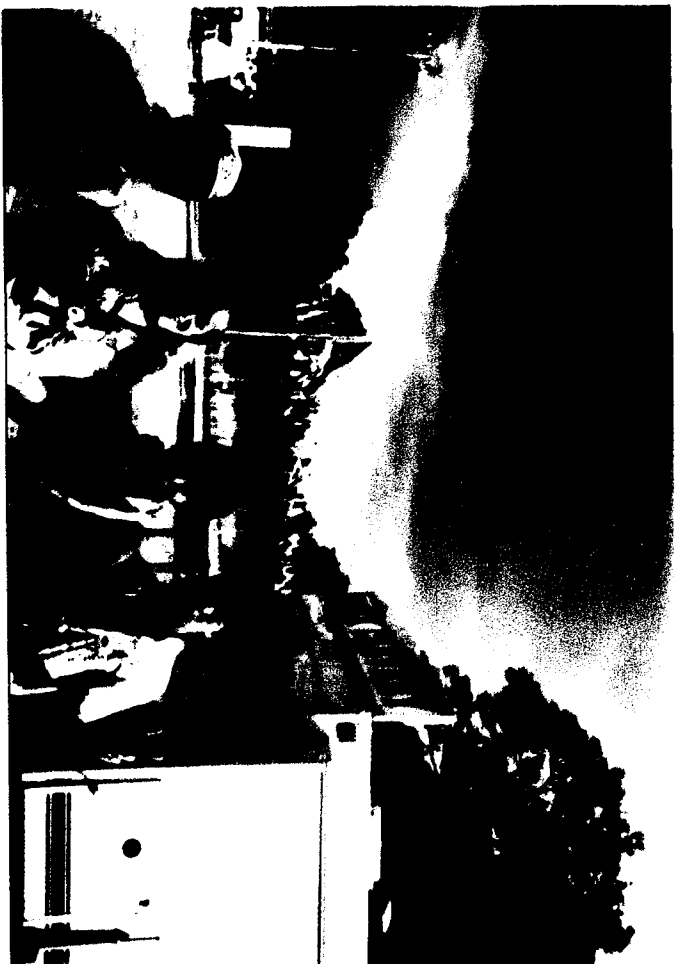
スカウト運動100年の長い間には、国によって様々な事情があったのだとわかり、スカウトのおかれている立場の違いも知ることができた。

6. 収支報告

収入		支出	
貯金から	45万円	参加費	49万円
家から	7万円	小遣い	3万円
		合計	52万円

派遣日程

日 時	C分団第18隊（静岡県連盟隊）
2007年7月22日（日）	午前中：県内東名高速各ICを貸し切りバスで出発 14時半：国立オリンピック記念青少年センター集合 派遣直前準備訓練（国立オリンピック記念青少年センター）
2007年7月23日（月）	派遣直前準備訓練 A・B・C分団合同結団式、壮行会
2007年7月24日（火）	08：00貸切バスで成田空港へ 13：20成田空港BA-007便出発→17：15ロンドン着 バスで約4時間後エウボン地区BS着/group accommodation泊
2007年7月25日（水）	エウボン地区BS/group accommodation泊 市長表敬訪問
2007年7月26日（木）	エウボン地区BS/group accommodation泊 交歓交流会
2007年7月27日（金）	エウボン地区BS→バスで約4時間後21WSJ会場到着
2007年7月28日（土）	21WSJ開会式
2007年7月29日（日）	プログラム開始
2007年7月30日（月）	プログラム
2007年7月31日（火）	プログラム
2007年8月 1日（水）	スカウティングサンライズデーと100周年記念式典
2007年8月 2日（木）	プログラム ジャパンデイ（日本派遣団レセプション） ラトビア・シルバーウルフ章返還式参加 （齋藤斗志二団長他静岡県連盟見学団14名来場）
2007年8月 3日（金）	プログラム
2007年8月 4日（土）	プログラム
2007年8月 5日（日）	プログラム
2007年8月 6日（月）	プログラム終了
2007年8月 7日（火）	21WSJ閉会式
2007年8月 8日（水）	21WSJ会場退場日→ノボテルロンドンウエストホテル泊
2007年8月 9日（木）	ロンドン市内見学/ノボテルホテル泊
2007年8月10日（金）	ノボテルホテル→ブラウンシー島見学→ノボテルホテル泊
2007年8月11日（土）	ノボテルホテル→15：45BA-007便ロンドン発/機内泊
2007年8月12日（日）	11：10成田空港着、解団式の後解散 13時貸し切りバスで成田空港出発 夕方～夜：県内東名高速各IC到着



会場にて



トイツ隊と
スカウト・カヌー



ボリヌ人と
会場にて



アメリカ合衆国

アメリカ合衆国 (1910年)

ボーイスカウト・アメリカ連盟 (BSA) は、600万人以上のスカウトを抱える世界有数のスカウト組織である。しかしBSAの歴史は、ひとりの男の幸運な場合から始まった。霧にけむるロンドンの通りでの、ある偶然の出逢いがその最初のシーンである。

1909年の冬、シカゴから来た出版業者、ウィリアム・ボイスは、ロンドンへ出張中だった。ボイスは深い霧のために道に迷ってしまった。するとひとりの少年が現れて、ボイスを訪問先の住所まで案内すると申し出たのだ。目的地に着いたとき、ボイスは少年の親切をうれしく思い、いくらかの謝礼を差し出そうとした。しかしその謝礼は丁寧に断られる。少年は「スカウトがチップをもらうことはありません」という言葉を残して去っていった。

ボイスは驚いた。謝礼の辞退だけでなく、「スカウト」という新しい言葉が彼には新鮮な響きに思えた。その後ボイスはさらに詳しくスカウティングについて調査をする。イギリス・スカウト連盟の本部に案内され、そこでB-P本人にも会うことができた。

ウィリアム・ボイスの体験は、生涯で最も胸のとまめく楽しい事件となった。ボイスはそれまでに、3万人にも達する少年を雇い、自分の週刊新聞の販売員として彼らを組織化して使った経験があった。しかしボイスは、あれほど心に残る印象を残した少年に出会ったことはなかった。数日後に家国に戻る時、ボイスは「スカウティング・フォー・ボーイズ」を携えていた。スカウトのユニフォームやバッジもいくつか持ち帰った。ボイスはボーイスカウト・アメリカ連盟の設立に貢献し、連盟は1910年2月8日に法人化された。ボイスは多くの人々に関わっていたが、その中にはアーネスト・トンブ

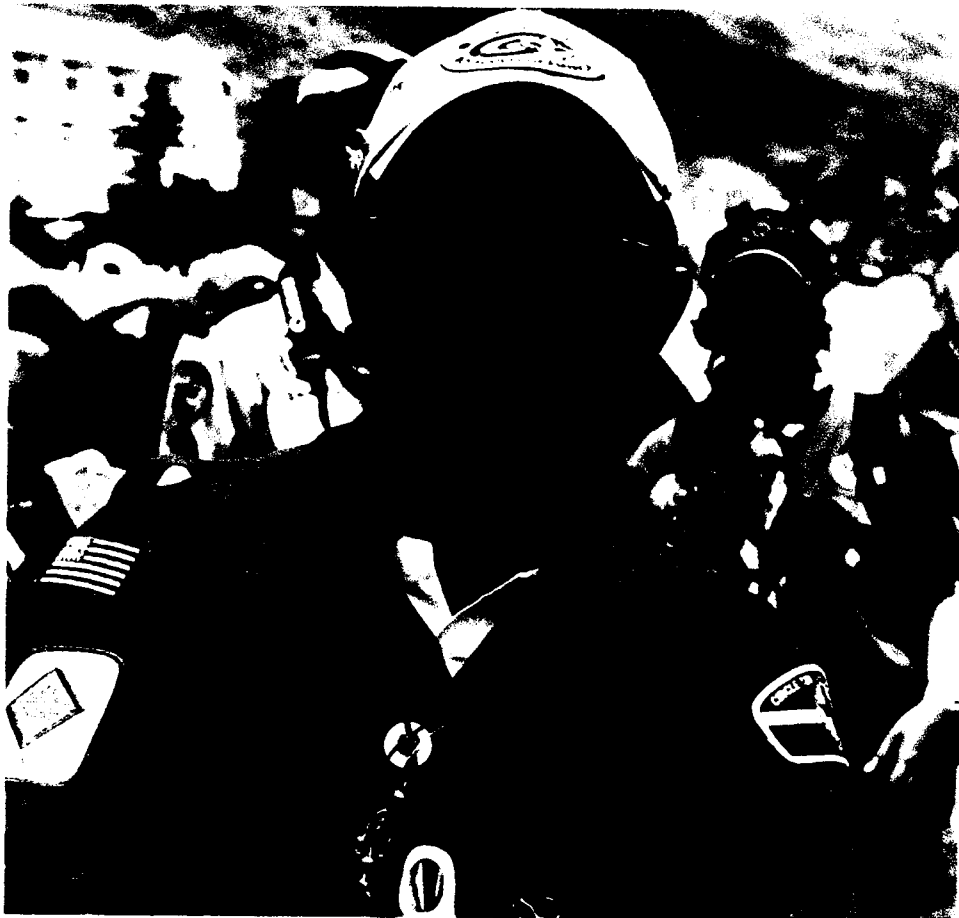
ソン・シートン (26ページを参照) や、ダニエル・ブレードといった、既に自分たちで青年団体を設立した、才能豊かな作家や地方議員もいた。

最初の全国スカウト組織の委員長として、ブレードは自分の運営する少年団体の「サンズ・オブ・ダニエル・ブレード」をスカウト組織に合併し、最初のスカウトの制服のデザインの決定にも一役かった。シートンも独自の青年団体「ウッドクラフト・インディアンズ」で活動していたが、ボーイスカウト・アメリカ連盟の初代総長に就任し、スカウト技術に関する多くの著作をあらわした。

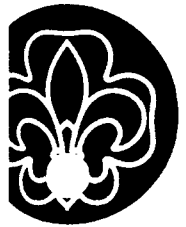
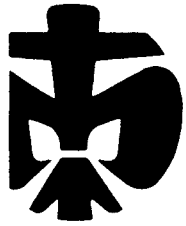
1911年にはジェームス・ウェストがボーイスカウト・アメリカ連盟の最高責任者である初代事務総長となった。ウェストは身体障害者であったが、退任する1943年末までアメリカのスカウティングの指揮をとった。

ひとつの善行がボーイスカウト・アメリカ連盟の結成を導くことになったが、その少年の身元はとうとう特定されず、今日にいたっても無名のままである。1926年に最高功労賞であるシルバー・バッファロー章が制定された時の第1号の受賞者はB-Pであった。功労賞の第2号は「無名スカウト」に贈られることになったが、この無名スカウトが誰であるか知る者はいなかった。

そこでその代わりとして、イギリス・スカウト連盟に送派されたバッファローの銅像を「無名スカウト」の記念として贈呈することとなる。1926年7月4日、キルウエル・パークにおいて英国皇太子 (後の国王エドワード8世) の臨席のもと、バッファロー像は駐ロンドン・アメリカ大使からB-Pに手渡された。そして現在もこのブロンズ像は、キルウエル・パークを訪れる多くのアメリカのスカウトたちの心をとらえ続けている。



アメリカのスカウト



ドイツ



マレーシア



ドイツのスカウト

ドイツ (1911年)

アレクサンダー・フォン博士が「スカウティング・ノア・ボーイス」をドイツ語に翻訳し、ドイツ・スカウト連盟 (DPB) を共同で設立したのは、1911年のことだった。DPBは第一次世界大戦を無事生き延びたが、1920年開催の初の世界ジャンボリーへの参加を、イギリス・スカウト連盟から拒まれてしまう。ロンドンは何度もドイツ軍の空襲で被害を受けていたし、また多くのイギリスのスカウトが戦争で亡くなってしまったという事情もあったので、ジャンボリーの主催者としては、ドイツのスカウト隊がロンドンの人々の前に姿を現すことは避けられたのである。たとえ参加を受け入れていたとしても、ドイツのスカウトたちの安全は保証できなかったとだろう。

ある日、ドイツのスカウト隊の隊長たちは会議に召集された。その会議では、国際ジャンボリーへの参加を断られたことに抗議して、ドイツのスカウトは今後国際的なスカウティングに一切参加しない旨を宣言する「ナウムブルグの決意」という文書が議題となった。ほとんどの隊長たちがこの文書に賛同してサインを行った。しかしこの抗議文書に同意できない者はDPBと袂を分かち、国際的に活動が公認されることを願って、別の組織を立ち上げたのであった。こうした状況を背景として、ドイツ隊ゲオルグ・ボーイスカウト連盟には既存のカトリック系スカウト団体が集結することとなった。

1933年に行われたスカウト運動への弾圧では、40の組織がその歴史の幕を閉じた。

ナチズムから逃れたドイツ人の難民は、新しい移住先でスカウティングの活動を行うことになった。ナチスドイツに併合され、占領された国から離れた隊員たちも、同様に自国のスカウティングを忘れなかった。大戦後、ドイツのスカウティングは再開し、戦後の困難な時代のなかで国民の倫理観を高めるために大きな役割を果たした。ドイツのスカウトが国際的なジャンボリーに参加することは、大戦後のヨーロッパの一体化に大いに貢献している。そして今では、ドイツのスカウト隊のあの有名な丸い黒テントは、どこに設置されても皆から歓迎されるようになった。

現在、世界スカウト機構はドイツ・スカウト連合の3つの会員団体を統一後のドイツの全国的な組織として公認している。ガイド・スカウト連盟は男女混成の組織で、隊員は自分と同年代の、男女どちらかだけの部門か男女混成の部門に参加することができる。ガイド・スカウト連盟の活動の特徴は、ポーランドとカザフスタンで提携プロジェクトを行っていることである。少年カトリック連盟は、またの名をドイツ聖ゲオルグ・ボーイスカウト連盟というが、現在も引き続き活動している。そして3番目の全国組織であるキリスト教ガールスカウト・ボーイスカウト連盟 (VCP) は、キリスト教系のスカウト活動とガイド活動をひとつの団体にまとめている。

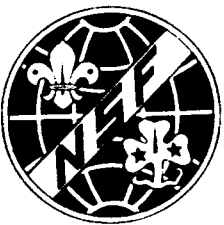
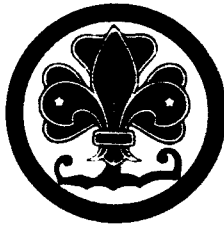
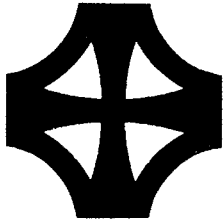
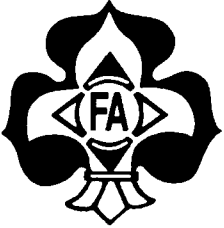
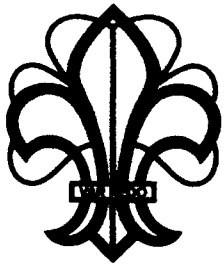
マレーシア (1911年)

現代的な独立組織を持ち、スカウティングを行っている多くの国の例に見られるように、マレーシアでのスカウティングも、当初はイギリス植民地社会から取り入れられたもののひとつにすぎなかった。が、スカウティングはマレーシアの人々に受け入れられて発展し、今ではマレーシアの人々の独自の主体性を支える力ともなっている。

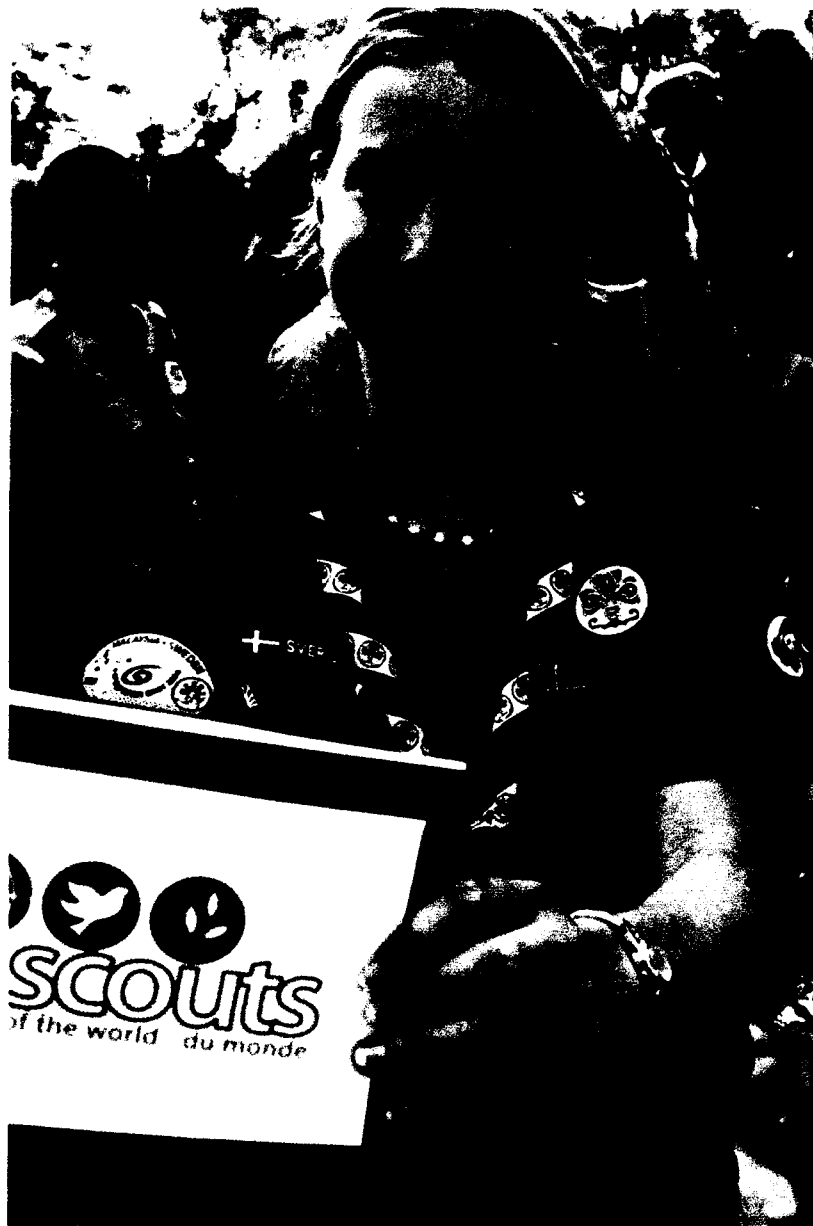
マレーシアの美しく豊かな島々は、ヨーロッパ、インド、中東、中国を通る古代の貿易路に位置しているため、マレーシアは他国からの侵略と占領を繰り返して経験してきた。その結果、現在のマレーシアの文化は中国、インド、イスラム、ヨーロッパ（主としてポルトガル、イギリス、オランダ）のそれぞれの文化の影響を受けて発展したものとされる。住民の約60%はイスラム教徒である。

インドネシアの島々のうちでボルネオ島としてイギリス人に名を知られている大きな島は、現在はマレーシア、インドネシア、ブルネウの3カ国の間で分割されている。マレーシアの主権範囲は島の北部のサバ州とサラワク州（元イギリス領北ボルネオ）である。サバ州でのスカウティングが始まったのは1913年であるが、現在の首都であるクアラランブールでは1911年に活動が始まっている。マレー半島に位置するクアラランブールは、元イギリス保護領マレー連合州の首都であり、マレーシアのスカウティングはこの都市から始まった。1963年に新しく独立国となったマラヤにサラワク、サバ、シンガポールが加わりマレーシアが誕生するが、その後シンガポールは1965年に分離独立する（135ページ参照）。

マレーシア・スカウト連盟は、現代マレーシア人の融合と調和という精神を具体的に表わしている。1968年の暴動の後、民族的宗教的緊張が高まり、民族の誇りに対する寛容さに関する新政策が発効した1971年まで、マレーシアは非常事態政府の管理下におかれた。マレーシア人は、マレーシアという独自性のもとで複数の文化が融合するという体験を重ねて来ており、スカウト活動もこの歴史の中の大切な一部分となっているのだ。



スウェーデン



スウェーデンの
スカウト

スウェーデン (1911年)

一説によると、1909年、スウェーデン陸軍の在郷軍人であり体育教師であるエッベ・リーバーグス大佐の頸の日に、本棚から1冊の『スカウティング・フォー・ボーイズ』が落ちたことがきっかけとなり、大佐はその『スカウティング・フォー・ボーイズ』のスウェーデン語訳に取りかかったといふ。さらに大佐はイェーテボリでスウェーデン初のスカウト隊を結成し、後にスウェーデン・ボーイスカウト連盟の初代総長になった。スウェーデンでのスカウティングについては、1908年にユーモ・ル・ウインキピストが始めたという別の説も伝えられている。またこのころYMCAもスカウティングの手法を導入し、1911年にはYMCAスカウト連盟が結成されている。ガイドとスカウトの活動は1961年までに統合され、現在、スウェーデンには世界スカウト機構公認の5つの全国組織があるが、すべての団体がスカウトとガイドの両方の活動を行っている。

救世軍ガイド・スカウト連盟は、1916年に設立された。

スウェーデンYWCA-YMCAガイド・スカウト連盟が設立されたのは1911年である。スウェーデン禁酒運動ガイド・スカウト連盟は、1927年に設立された。スウェーデン青年同盟ガイド・スカウト連盟が結成されたのは1931年である。そしてスウェーデン・ガイド・スカウト連盟は、スカウト・ガイド連盟から分かれて結成された。

スカウティングがスウェーデンで始まってから、スウェーデン王室は熱心で私的な活動の支援者となった。現国王カール16グスタフはスウェーデンの総長であり、また世界スカウト財団の名譽総長にも就任している。国王カール16グスタフは、スウェーデンでの数多い公務をこなした上で、さらに2003年にタイで開催された第20回世界ジャンボリーでは世界スカウト機構を代表してキーン・ブー・ブー・ブーを指揮し、「ロケット」の曲芸を披露した。なおかつデントで自国派遣隊のスカウトたちと並んで穿ていたのである。この国王の熱心と献身は、世界中のスカウトの記憶に国王への愛の気持ちとともに深く刻み込まれたことだろう。



イタリア



イタリアの
スカウト

イタリア (1912年)

イタリアではいくつかの全国的な組織が世界スカウト機構に公認されている。またそのほかの組織はイタリア・スカウト連合にも所属している。イタリア・カトリック・ガイド・スカウト連盟 (AGESCI) とイタリア全国カールスカウト・ボーイスカウト連盟 (CNGEI) のほかの組織は、男女ともに参加できるが、宗教上の観点から別の組織を結成している。イタリア・カトリック・ガイド・スカウト連盟 (AGESCI) は1974年に、別個のスカウト3団体やガイド団体が集まって結成された。

イタリアのスカウティングは、当初はローマで始まった。ローマではスカウティングは個人的な訓練の一形態として見られており、ツツォ・トランク&フィールド・ソサエティの後援を受けていた。イタリア・ボーイスカウト連盟は公式には1913年に結成された。少女のためのガイド活動が始まったのは、少し遅れて1914年のことである。

スカウティングは、国民の道徳観に良い影響を与えた。特に参加している少年にはその効果が顕著に表われた。すると政府もすぐさま、スカウティングを全国的な制度として取り入れたのだ。[旧元首(当初は旧王)]はスカウト支持者の筆頭となり、政府職員もスカウト団体の他の役職に就くようになり、スカウティングは国内の社会体制の中での地位を確立することになった。

「神がスカウティングに関与することは北方の典である。ベネドット・ムッソリーニが支配するファシスト政権の要請にス

カウト団体が従わなかったときに、その意は現界の典となった。

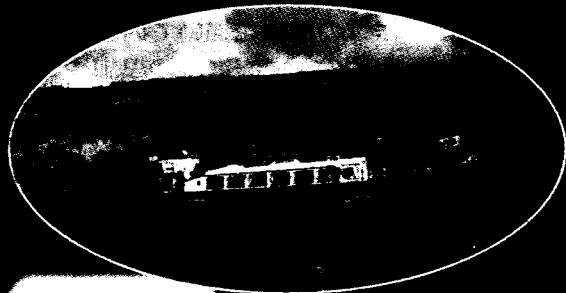
1927年、ムッソリーニが政権を牢牢に握ると、イタリア政府はスカウティングの支援から手を引いた。B-Pはムッソリーニを訪問し、事態を改善しようとした。しかし、ムッソリーニが展開するパレード運動 (ファシスト政権の政治宣伝) は、スカウティングの様々な要素を取り入れて活動しており、併行してスカウトが活動を続けるのは困難になった。

B-Pはローマ法王にも懇見し、カトリックのスカウティングだけでも存続の危機から救おうとした。スカウトたちはバチカン市国の中で活動を続けたが、イタリアの他の地域では潜伏して活動するよりほかはなかった。数多くのスカウトたちがバチカンに加わり、連合国側の兵士たちがアルプスを越えて中立国であるスイスに逃げるのを手伝った。

戦争末期、連合国軍がローマを解放し、続けて北部へ進軍し始める。スカウティングは連合軍が解放した地域で徐々に復活していった。1944年、イタリアのスカウティングは国際事務局での事務手続きとは別の姿に戻った。そして2年後にはイタリア国内に6万5000人のスカウトたちが活躍していたのである。昔の通り、旧元首は今もイタリアのスカウティングの最高の支持者となっている。

【注】イタリアのファシスト政権が公認した団体は、イタリアに似た活動をしていた団体は世界スカウト連盟 (WOSM) の 98-101 参照。

1895年、産業革命に伴う乱開発が進む英国で、オクタビア・ヒル氏ら3人の社会活動家が「ザ・ナショナル・トラスト」という団体を設立したのが始まりです。「ナショナル」は「国民の」、「トラスト」は「信託、信頼」という意味です。森林や農村、邸宅、庭園などを保存し、広く公開しています。



コニストン湖の蒸気船ゴンドラ号
=湖水地方で
©NTPL

絵本「ピーター・ラビット」シリーズの作者ビアトリクス・ポター(1866~1943年)は湖水地方の土地や農場を印税で購入し、約16km²をナショナル・トラストに遺贈。住んでいた農家などは映画「ミス・ポター」のロケにも使われた

ロンドン



ジョン・レノンの育った家も保護資産になっている
=リバプールで
©NTPL

ナショナル・トラスト
National Trust

英国で誕生

保護資産

海岸線約1120km、土地の合計約2500km²、歴史的建造物1000棟、ほかにも農場や村など多数(いずれもスコットランドを除く)

国からは独立

収入は会費と寄付、遺贈、レストランなどの収益事業
会員数

約350万人

法による保護

1907年制定のナショナル・トラスト法をはじめ、保護資産の非課税など数多くの特権あり

公開と教育

- ・有料施設への訪問者 1200万人以上(年間)
- ・田園地帯など(無料) 5000万人以上(同)
- ・児童らの課外活動 50万人以上(同)

ボランティア

4万人以上(年間)

地域貢献

- ・観光や農場経営など経済活性化
- ・住民活動の推進支援

ナショナル・トラスト 詳細解説

ナショナル・トラスト発祥の地はイギリスで、19世紀末に3人の市民によってスタートした。当時のイギリスは産業革命の影響によって自然破壊が急速に進み、歴史的建造物の多くが失われつつあった。そこで、美しい自然や歴史的建造物とその環境を末永く守り続けていくために、市民からの寄付金や寄贈、遺贈などによって土地や建造物を取得し、これを保全、維持、管理し、一般に公開していく組織をつくらうと、1985年に非営利法人「ザ・ナショナル・トラスト」が設立された。1902年にはピーターラビットの生みの親ビアトリクス・ポッターが、湖水地方の美しい風景を守るために土地を買い取り、ザ・ナショナル・トラストにその維持管理を委ねた。同協会はその後も存亡の危機にあった多くのカントリーハウスの保存活動を展開するなど、世界のナショナル・トラスト活動の先駆的役割を果たした。

日本のナショナル・トラストは1964年に鎌倉市鶴岡八幡宮の裏山の宅地開発に対して、市民と市が「財団法人鎌倉風致保存会」を設立、資金を出し合っこの土地の一部を買い取ったことに始まる。これをきっかけに、全国にトラスト団体が誕生した。イギリスとの違いは、全国単一の団体でなく、市民の任意団体や法人、行政指導型団体など、さまざまな形で各地で独立した団体として活動していることだ。

日本のナショナル・トラスト第1号は、
 古都鎌倉の景観を守ろうと1964年に設立された「鎌倉風致保存会」です。
 その後も運動は広がり、今では60近い団体が活動しています。

数字

0 「社団法人日本ナショナル・トラスト協会」
 (☆参照)の正会員団体

- ①主な対象地域 ②発足年
 ③現有資産(m²) ④保全資産(m²)

18 富士山ナショナル・トラスト

- ①富士山 ②1996 ④▲4万

19 (財)柿田川みどりのトラスト



- ①柿田川 ②1988 ③▲約2000

豊かな自然は、私たちが生存するための最も大切な財産です。のびのびとした感受性や、優しい思いやりの心をもつた子どもを育てるためにも、重要な役割を担っています。歴史的な建造物は、先人の優れた技術や芸術を今に伝える魅力あふれる日本文化の語り部です。これらの貴重な自然や歴史的な建造物は、ひとたび開発されたり取り壊されたりすると、取り戻すことが非常に難しく、今を生きる私たちが子や孫に伝えていかなければなりません。

ナショナル・トラスト活動とは、後世に残したい自然や歴史的な建造物を、広く市民や企業などから寄付を募って買いつつたり、あるいは所有者から寄贈を受けたりして、すべての国民のために、永遠に保全していく活動です。

ナショナル・トラスト発祥の地イギリスでは、その活動の公益性が広く知られており、多くの市民が活動に協力しています。活動によって得られた財産を永久に開発から守ることができ、方法や、減税など、優遇措置など、

未来へ向けて 新たな挑戦

あいち かずお
愛知 和男

活動を支えるさまざまな制度がつくられています。

しかし日本では、公益を目的とした活動にも税金が課せられるなど、理に合わないところもあります。そこで今、私たちは新しい法律の制定に向けて取り組んでいます。

日本における活動の推進にも、多くの人々の参加が不可欠です。自らの土地や建造物を自然や文化の保護に生かしたいと考える所有者に対しては、その受け皿となるように、寄贈や遺贈の受け入れ体制を整えています。また地域に貢献したいと考える企業や団体などは、日本全国に広がるネットワークを生かし、連携を進めています。

豊かな自然や歴史的な建造物を後世へと永遠に伝えていくために、市民、企業、議会、行政と力を合わせ、ナショナル・トラスト活動をさらに飛躍させようと思っています。

(社団法人日本ナショナル・トラスト協会会長)

◆ 富士山ナショナル・トラストの活動にご参加ください

あなたの会費・寄付・ボランティア活動が当会の活動を支え、緑豊かな美しい富士山をつくります。

年会費 個人…… 2,000円
法人・団体…… 5,000円

賛助金 賛助金…… 一口 30,000円 (原則)
特別賛助金…… 一口 300,000円 (原則)

寄付 ご芳志額

寄付金及び会費受付

●郵便振替口座

00130-1-772573 富士山ナショナル・トラスト

●静岡銀行 原里西支店

普通 268-0123143 富士山ナショナル・トラスト

■ 貴重な寄付金は、富士山ナショナル・トラストの主旨に基づき、事業計画の実施の費用に充当させていただきます。

<http://fujina.sakura.ne.jp/sanka.html>

崩落の続く富士山

宝永4年(1707年)宝永噴火によって、富士山東南麓(御殿場口から須走口約4キロメートル)は、それまで森林であったところが大砂礫地帯となった。富士山の森林限界は2,500メートルであるが、1,400メートルで止まっている。以来、約300年を経た今日でも緑は回復せず、砂礫地帯のままである。(写真1参照)

この地帯は、雪崩による崩落が続いている。正式には、雪代と呼ばれているが、雪とともに、凍った土砂までも崩落しているのである。今までは、標高の高い位置で起こっていたため、その実態が実感されなかったが、崩落の現場が徐々に下がってきて、その費外が山麓まで拡がってきた。事実、スキー場のリストと崩壊、テレビ中継地の崩壊、道路の分断、山小屋の崩壊などと被害が起こっている。最近では、平成7年(1995年)3月17日の被害は甚大であった。幅3.5km、流下距離3kmを上回る大雪代で、それまで標高1450mまで上昇していたカラマツ林を粉碎破壊し、およそ100年から150年間にも及ぶ植物の上部進出を15分程度で押し戻し、その下端を標高1200mまで引き下げてしまったのだ。(小岩清水氏による)このまま放置すれば第二の大沢崩れになるのではないかと危惧されているのである。(写真2参照)

では、この崩落被害を少しでも防ぐためにはどうすればよいのか。富士山をコンクリートで固めてしまうというのでは余りに無残である。そこで、緑化によって、すなわち、宝永噴火前までは、森林であったところだから、その森林の復元を図ることによって、少しでも崩落防止を行おう。そして美しい富士山の山容を後世に伝えていこうというわけである。

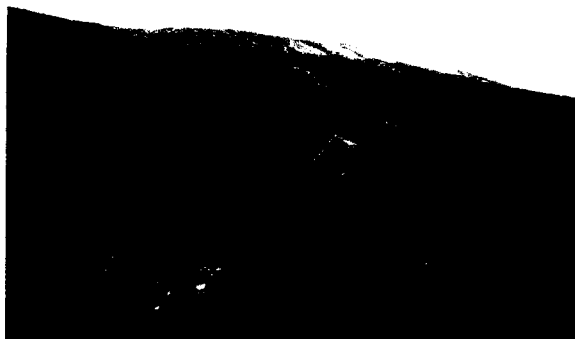
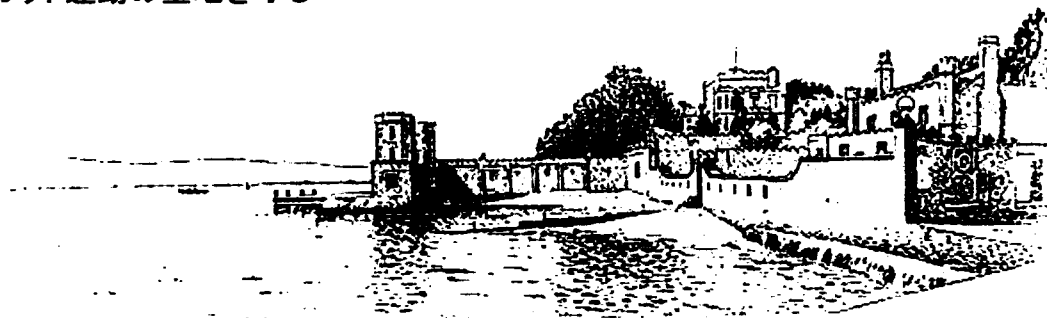


写真1/98年10月25日の富士山



写真2/太郎坊駐車場側の崩落場所

スカウト運動の聖地を守る



1907年8月1日、いろいろなバックグラウンドを持つ20人の少年達が1週間、ブラウンシー島で実験的なキャンピングを実施しました。一人ひとりの少年たちには、そのとき自分達が重要な歴史の一部になるなどとは、決して思っていないことが多かったことでしょう。

このキャンプはロバート・バーデン・パウエル の指導によるもので、冒険と挑戦にあふれ、チームワークと市民活動、そして統率力の大切さを学ぶことが出来るように考えられたものでした。

このブラウンシー島でのキャンプの結果、バーデン・パウエルはこの野外活動の価値を確認し、翌年『少年のためのスカウト活動』を出版、このことが今日、世界の各地に見られるボーイスカウトやガールスカウトの活動が産声をあげた瞬間となるのでした。そのようなわけで、この島は世界中から多くのボーイスカウトやガールスカウトの隊員たち、そしてスカウトやガイド活動の関係者を「世界のスカウト活動発祥の地」としてひきつけているのです。

このブラウンシー島は、南西イングランドのドーセット州の港町、ポーンマスのプール港の沖合にドラマチックに浮かぶ202ヘクタール(東京ドームの約43倍)ほどの島で、この島を愛し、開発されるのを嫌ったオーナーから1962年に英国ザ・ナショナル・トラストが取得したものです。それ以来、当然英国ザ・ナショナル・トラストはその状態を維持してきたので、英国では絶滅危惧種にもなっている原産の赤リスの楽園にもなっているほど豊かな自然が守られているところでもあります。もちろん周辺は、英国ザ・ナショナル・トラストが取得して依頼、南西イングランド独特の穏やかな気候に恵まれ、ヨットやクルーザーの造船所や係留施設、ホテルや別荘などで変貌を遂げています。また近年、近隣に石油精製施設なども建設され、大きく変貌を遂げているのは指摘するまでもないことでありましょう。

そして、今年はバーデン・パウエルが当時のオーナーで招待したあの実験的な7日間のキャンピングから数えて、ちょうど100年目。スカウト活動の発祥の地の100周年ということで多くの催しが、ここブラウンシー島でも執り行われます。

そのメイン・イベントは、世界各国のスカウト団体の代表者が8月1日に島に集まり「サンライズ・セレモニー」を行うことだそうです。でも、一般の人々にも9月15日と16日の2日間、家族を対象としたスカウト活動100周年の記念行事が開催されます。また、島にあるザ・ナショナル・トラストのビジター・センターで、スカウト活動の100年間をテーマとした展示会や、島をトレイルするガイド・ブックを設置するなど、多くの訪問者にこの機会に楽しんでもらえる準備も整えられています。

また、バーデン・パウエル野外活動センターもオープンします。このセンターは、ブラウンシー島のキャンピングの施設を補完するもので、トイレやシャワー、教室なども含まれています。

センターの建物は、周囲の景観に溶け込むかのような設計で、暖房は最低限に抑え、バイオマスのボイラーを備え気候変動にも配慮した施設となっています。そして、建材は再生・継続が可能などところからの木材を使っているのです。英国ザ・ナショナル・トラストは、今年団体がブラウンシー島を訪れる場合、数々の活動から参加するものを事前に決め、予約してから訪れるようにアナウンスしています。

野外活動から多くを学ぼうとするスカウト活動と、その発祥の地を所有し未来に引き継ごうとするザ・ナショナル・トラスト。その環境保護の方針と、スカウト活動の理念であるところの「来たときと同じ状態で帰ること」とは、本当にうまく調和した素晴らしい組み合わせではないかと感心してしまいます

平成 19 年 9 月 1 日

活動実施計画書③

1. 活動のテーマ	チャレンジ！ コンピュータ章
-----------	----------------

2. 活動の目的	コンピュータの技能を高め、使いこなせるようにし、ホームページに役立たせるようにする。
----------	--

3. 活動内容(目標) (活動3)	ホームページを作りながら、コンピュータ章の細目をこなし、知識を深めて、より良いホームページをめざす。
----------------------	--

4. 行動計画(日程)

月 日	内 容	場 所
9月初め～9月末	コンピュータ章のための細目を調べ、レポートにまとめる。	自宅
10月中	コンピュータ章取得のための実技	西村隊長宅
10月中	活動実施報告書作成	自宅

5. 人的・物的資源	技能章考査員・西村さん
------------	-------------

6. 期 間	平成19年9月1日(土)～10月31日(水)
--------	------------------------

7. 予算概要	コピー代など 500円	
		合計 500円

活動実施報告書③

1. 活動のテーマ	チャレンジ！ コンピュータ章
-----------	----------------

2. 活動の目的	コンピュータの技能を高め、使いこなせるようにし、ホームページに役立たせるようにする。
----------	--

3. 活動内容(目標) (活動3)	ホームページを作りながら、コンピュータ章の細目をこなし、知識を深めて、より良いホームページをめざす。
----------------------	--

4. 行動報告

月 日	内 容	場 所
9月23日(日) 9月30日(日)	コンピュータ章のための細目を調べ、レポートにまとめる。	自宅
10月14日(日)	コンピュータ章取得のための実技考査 コンピュータ章取得	西村隊長宅
10月21日(日)	活動実施報告書作成	自宅

5. 調査のまとめ

細目レポート参照

6. 収支報告

収入	支出
なし	なし

7. 反省

自己都合で、西村考査員宅に遅くまでおじゃましていたことを申し訳なく思う。
パソコンは、時間の目安が立てにくい。

8. 評価

中学の技術でコンピュータについてかなり詳しく学んだことが活かされ、レポートをスムーズに書くことができた。

平成 19 年 8 月 20 日

活動実施計画書④

1. 活動のテーマ	広げよう・21WSJの感動！
-----------	----------------

2. 活動の目的	21WSJの素晴らしさを後輩に知ってもらい、次のWSJをめざしてもらえるように広報活動をする。
----------	---

3. 活動内容(目標) (活動4)	ホームページをたちあげて、一人でも多くの人に21WSJの素晴らしさを伝える。
----------------------	--

4. 行動計画(日程)

月 日	内 容	場 所
8月20日(月)～ 9月25日(日)	ホームページ作成	自宅
10月末	活動実施報告書作成	自宅

5. 人的・物的資源	12団のホームページ担当の西村さんに相談しながら完成させる。
------------	--------------------------------

6. 期 間	平成19年8月20日(月)～9月25日(日)
--------	------------------------

7. 予算概要	写真代(フィルム現像代) コピー代など	合計 1500円
---------	------------------------	----------

活動実施報告書④

1. 活動のテーマ	広げよう・21WSJの感動!
2. 活動の目的	21WSJの素晴らしさを後輩に知ってもらい、次のWSJをめざしてもらえるように広報活動をする。
3. 活動内容(目標) (活動4)	ホームページをたちあげて、一人でも多くの人に21WSJの素晴らしさを伝える。

4. 行動報告

- ①資料集め、整理
- ②構想を練る
- ③ホームページ開設の手続きをする(ジオシティーズ)
*あえてホームページビルダーを使用せず
- ④ホームページ作成(西村隊長に相談しながら)
アドバイス内容
 - ・ 写真を増やす
 - ・ 言葉づかいの変更
- ⑤西村隊長チェックをしてもらい団に紹介してもらう
- ⑥修正
- ⑦ホームページの公開
<http://www.geocities.jp/scjamboree/>
- ⑧感想を聞く
別紙参照

5. 期間	平成19年8月20日(月)~11月3日(土)
-------	------------------------

6. 収支報告

収入	支出
小遣いから 1400円	写真代(フィルム現像代) 1200円
	コピー代 200円
	合計 1400円

7. まとめ（反省・評価）

21WSJはホームページのための写真をとると考えず、ひたすらその場を楽しんでいたため、いざホームページを作りだすと、使える資料や写真がなく、それをさがしだすのに苦労した。

特に、写真を取り込むのに自宅のパソコンが旧型なので、予想以上に時間をとられてしまった。



また、パソコンに向かっていると時間の観念がなくなってしまう、他のことに支障をきたしたりして、大変だった。



西村隊長宛にて

YAHOO! JAPAN

[お知らせ](#) [ページディレクトリ](#) [困ったときは?](#) [ヘルプ](#)

オリックスVIPローンカード

実質年率 **6.9%** ~ ご利用可能枠 最高 **500** 万円

[お申込みはこちら](#)



- [ホーム](#)
- [世界ジャンボリー](#)
- [イベント](#)
- [お知らせ](#)
- [お問い合わせ](#)
- [お問い合わせ先](#)
- [お問い合わせ](#)
- [お問い合わせ](#)
- [お問い合わせ](#)
- [お問い合わせ](#)

第21回 世界ジャンボリー

イギリスでの体験レポート hotな情報満載ジャンボ!



世界ジャンボリーって一体何だ??

世界ジャンボリー(*World Jamboree*)は、世界スカウト機構が主催するボーイスカウトのキャンプ大会で、全世界のボーイスカウトの最大の行事なんだ。

世界ジャンボリーは4年に1度開催され、現在までに21回実施されている。略してWJという。大会回数を冠して21WJ(第21回世界ジャンボリー)等と表示するよ。近年の大会においては、「WJ」の略称よりも「WSJ」(“World Scout Jamboree”)の略称を日本連盟は公式に用いているよ。

過去の大会の開催国(場所)は下の通りだ。こんなにたくさん、それも世界中で行われているんだ。ボーイスカウトってすごいね！

- 1920: 第1回世界ジャンボリー(イギリス、ロンドン、オリンピア)
- 1924: 第2回世界ジャンボリー(デンマーク、コペンハーゲン、エルメルデン)
- 1929: 第3回世界ジャンボリー(イギリス、パーケンヘッド、アローパーク)
- 1933: 第4回世界ジャンボリー(ハンガリー、ゲデッレー)
- 1937: 第5回世界ジャンボリー(オランダ、フォーゲレンザンク)
- 1947: 第6回世界ジャンボリー(フランス、モアソン)
- 1951: 第7回世界ジャンボリー(オーストリア、バドイツシエル)
- 1955: 第8回世界ジャンボリー(カナダ、オンタリオ州、ナイアガラ・オン・ザ・レイク)
- 1957: 第9回世界ジャンボリー(イギリス、バーミンガム、サトンパーク) (=スカウト運動50周年記念ジャンボリー)

- 1959: 第10回世界ジャンボリー(フィリピン、マッキンリン山)
- 1963: 第11回世界ジャンボリー(ギリシャ、マラトン)
- 1967: 第12回世界ジャンボリー(アメリカ合衆国、アイタホ州、ファラガット州立公園)
- 1971: 第13回世界ジャンボリー(日本、静岡県、朝霧高原)
- 1975: 第14回世界ジャンボリー(ノルウェー、リリハマー、リュウサ湖)
- 1979: イランで第15回世界ジャンボリーを開催する予定であったが、政情不安定により延期。この年は「世界ジャンボリー年」とされ、世界各地でキャンプなどが行われた。
- 1983: 第15回世界ジャンボリー(カナダ、アルバータ州、カナナスキス)
- 1987: 第16回世界ジャンボリー(オーストラリア、カタラクト・スカウト・パーク)
- 1991: 第17回世界ジャンボリー(大韓民国、雪岳山(ソラクサン))
- 1995: 第18回世界ジャンボリー(オランダ、ドロンテン)
- 1998~99: 第19回世界ジャンボリー(チリ、ピカルキン国立公園)
- 2002~03: 第20回世界ジャンボリー(タイ王国、チョンブリー県、サッタヒーフ)
- 2007: 第21回世界スカウトジャンボリー(イギリス、エセックス) Scouting2007
(=スカウト運動100周年記念ジャンボリー)

- 2011: 第22回世界スカウトジャンボリー(スウェーデン)

ここで、みんなに是非知ってもらいたいことがあるんだ。

世界ジャンボリーは、第2回までは「国際ジャンボリー」(International Jamboree)と呼ばれていたんだ。「世界ジャンボリー」という名称は第3回から使用されたんだよ。で実は、今回の第21回からは、「世界スカウトジャンボリー」に代わったんだ。やっぱり、WSJはスカウトのジャンボリーなんだということを強調したいんだね！ けっこう日本の場合は、リーダー主体になってること、いがいと多いからね…

どうだい？少しは世界ジャンボリーについてわかったかな?? そして、世界ジャンボリーに行きたくなったかな？ よし、じゃあ行こう~^

[もどる](#)

プログラム

ジャンボリーでやれることが、下に示したような数々なプログラムだ。これがまた、楽しい楽しい！！！！

プログラムには、ジャンボリー会場の中でやるのと、外でやるのがあるんじゃ。

会場外で行うプログラムは会場から1時間程度の場所で行うのだ。 それでは、見ていこう。

<会場外でやるプログラム>

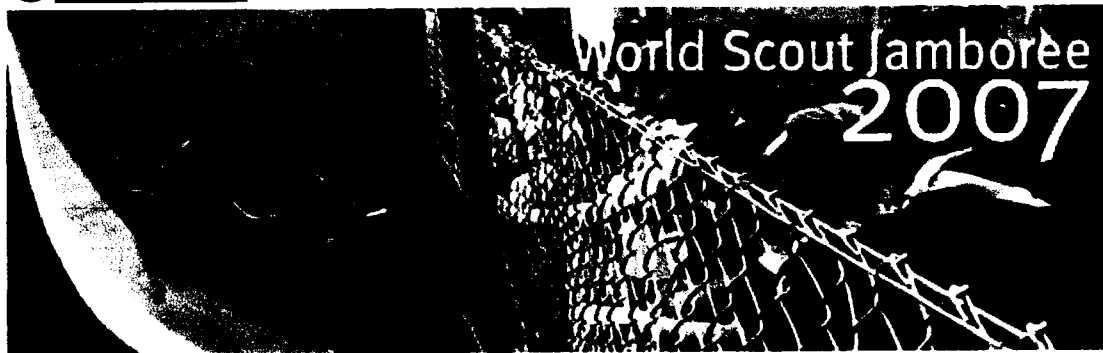
①水辺のプログラム



カヤック、ヨット、いかだ などがやれるんだ。

相手に水をかけられて散々だったなあ。 だが、この体験は、世界ジャンボリーでなくては絶対にできないことは誓おう。

②奉仕活動



いわゆる本当の、みんなが嫌がる奉仕活動をさせられる。

泥沼掃除は、とてもきつい。 日本じゃありえないほど、汚い・くさいの連発で、日本の3倍ほどのナメクジが突如でしてくることも・・・(汗)

日本人が引いてるなか、外人は泥のかけあい・・・ さらにひいてしまった。

③ イギリスのスカウト活動の拠点でのプログラム



さすが、イギリス！といたくなるくらい、本当に楽しい。クライミングや高い所から綱を頼りに平面の壁を降りる などなど。そして、高さがとてももなく高い。怖くて震えてしまう。一度やったら君も感動するだろう。

<会場内でやるプログラム>

④ 世界の窓



ジャンボリーに参加している国々が出しているパビリオンみたいなものなんだ。訪ねたパビリオンの国のことがよくわかるんだー。はっきりいって、万博に比べ、すいてて、丁寧に教えてくれ、体験ができ、ちょーお得だね。Happy

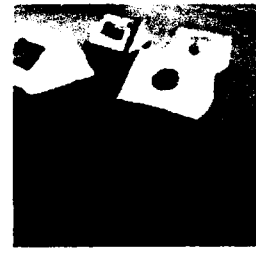
⑤ ごみ

ゴミを使って楽しもう！ってのが主題かな・・・ ゴミを使ったゲーム・作品作り・音楽・クイズ。特に、僕らのゴミの作品は、ぶちまけて終わり。ピカソ以上の最高傑作の作品ができました。





このまなざし、カッコイイ——



この作品を作ったスカウト。よくがんばったでしょう。

⑥地球の科学

火・空気・水・土の4つの分野のうち1つに参加できるんです。うん、そうなんです。僕は「土」の分野でした。何をやったとおもいますか？

完全に光を遮断した真っ暗な迷路に挑戦でした。それも1人ずつ。かなり寂びしかったなあ。



ねえ、何やってるの？



とあるものを作ってるんだよ…

是非、プログラム続編 も見てね！ 写真満載！！

もどる

プログラム 続編

プログラムのページを見てくれてありがとう!
は、もっと写真を増やして、楽しさが伝わるようにしてあるので、
さがわかるんじゃないかな?

このページ
WSJのプログラムの楽し

<スプラッシュ>

イギリスの貯水池で行ったんだ



貯水池レポート

- ・ 貯水池の大きさ・・・ かなり大きい big
- ・ 水の透明度 ... けっこう濁っている&臭い
- ・ 魚の生息 ... 全くなし
- ・ 周囲の環境 ... のどかでいい景色で、住むにはもってこい。



しかし
全然前に進まない



しかし
上手かからない



こうなったら、いかだを降りて、水かけろ!
え? 貯水池こんなに浅いの? 実は

ここは浅瀬です。& 水かけてるのはISTです...

<ギルウェルパーク>

ギルウェルパークで行われたプログラムは大きくわけて、4つあるんだ。

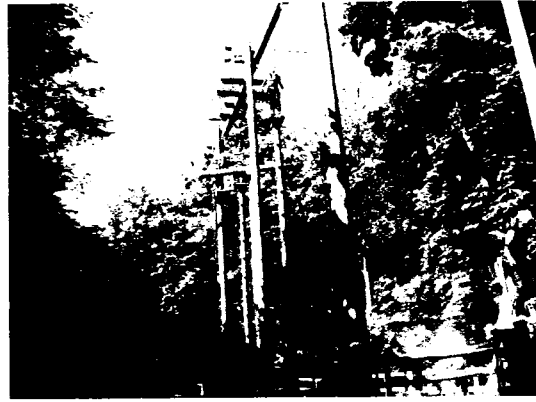
Discovery Zone と Scouting Skills Zone と Challenge Valley Zone と Village Green だ。

どれも面白いが、人気が高いのは scouting skills と challenge valley だ。

どれもスカウトらしい野外活動に準じたもので、とても楽しめる。



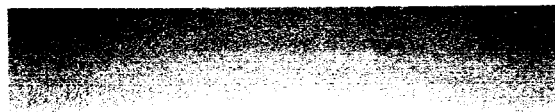
けっこうな高さがあるこのクライミングはけっこう怖く、迫力あり。達成感あり。スリルあり。



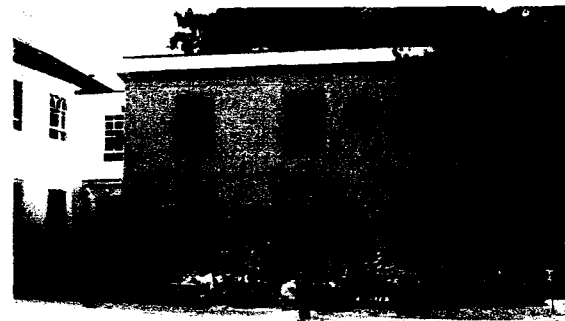
この空中ブランコは見た目より怖そうでしょう。



これは地味に疲れるけど、面白い。ロープに結び目が2つあり、上の結び目をまず上にあげ、ロープを持って腰を浮かせ、下のロープを上にあげると自然に体が上にあがる。これを何回も繰り返すと一番上までたどり着くことができる。一見簡単そうに思えるが、意外と難しい！
自分ひとりの力で他人の援助がいらないので、達成感もあるぞ！！



ギルウェルパークから見える景色はきれいなんだ！



こーんなにギルウェルパークにある建物。前には、ジャンボリーを記念して、2007の看板がお目見え。

前には、

ホーム

番外編 その1

ジャンボリーの楽しみは、昼のアクティビティだけではない

夜のライブやイブニングプログラムで盛り上がり、寝る暇もないほど。

夜は寒いイギリスだけど、ライブは熱気で暑いぐらい。外国のスカウトの乗りはすごい!



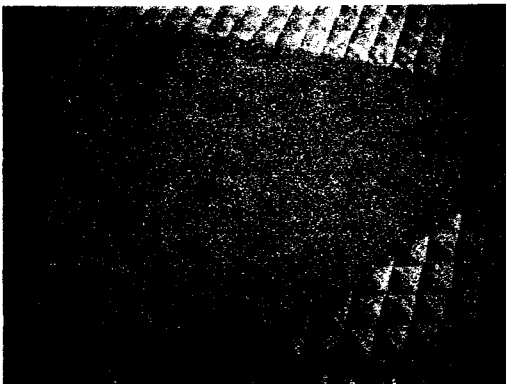
音響抜群!

疲れ吹き飛ばす!!



その2

外国スカウトにサインをもらったり、グッズ交換も楽しい思い出のひとつ



ネッカーとペンを常に持ち歩いて、外国のスカウトのみにサインをもらっていた

よくぞ集めた **177** 人

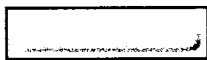


お国柄のでるワッペン



イタリアの制服

イギリスのTシャツ



YAHOO! JAPAN


お知らせ ▶ ページディレクトリ ▶ 困ったときは? ▶ ヘルプ

ORIX

オリックスVIPローンカード

お申込みはこちら

実質年率 **6.9%** ~ ご利用最高 **500** 万円



独り言

僕はスカウト活動長いけど、あまり模範的なスカウトではない。

ビーバーから始めてベンチャーまで長いスカウト活動。

それなりに楽しんできたけれども、世界21WSJのために続けてきたとも思えるほど、楽しい思い出となった。

この感動を一人でも多くの人に味わってもらいたいな

もし、君がボーイスカウトなら、即、4年後の22WSJのための貯金をはじめてもらおう 親に。

もし、あなたがカブスカウトなら、まずは3年後の朝霧で行われる日本ジャンボリーを目指そう。

もし、君がビーバースカウトなら、今からジャンボリー貯金を始めれば誰でも行けるチャンスだぞ。

もし、あなたがスカウトでないなら、即、スカウトになろう。

ボーイスカウト日本連盟 <http://www.scout.or.jp>

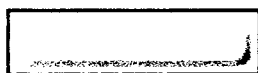
オリンピックは、誰でも行けるわけではないけど、WSJはスカウトならみんな、世界とつながり一つになるような体験ができる。

スカウトならね！

みんな **ファイト!**

僕は、15NJの奉仕隊と22WSJのISTをめざす。

そのときに会おうな！ じゃーな！！



世界選手権 - のこがよ
わかる いい 本-ん-ア-じ"た"と
思った。

法松 14 回 太田 雄己

プロジェクト報告書

テーマ 「 21WSJの夢 」

ボーイスカウト静岡県連盟
所属団 浜松12団 氏名 鈴木 駿

1. プロジェクトの目的

14NJでの隊付としての経験を生かし、年下をリードし世界のスカウトとの交流を促進する。そして、その活動を多くの人に紹介し、PRする。

2. 目的に対する結論(まとめ)

スカウティングが誕生し100年の記念すべき年に、その誕生の地イギリスで行われた第21回世界スカウトジャンボリーに参加できる意義を、派遣隊事前訓練と本やインターネットの事前調査でしっかりと理解できた。ここをきちんとやったおかげで、現地での感動がより大きく強いものとなり、心に深く焼きつくことになったのではないだろうか。世界で2800万人の加盟員の中での参加隊員4万人の1人として、21WSJのイギリスの地に立てたことは、名誉であり誇りに思えることなのだと思う。感謝の気持ちでいっぱいになる。この思いは、参加メンバー一年上、年下に関わらず、国籍や宗教に関わらず、みんな同じだと感じる。それほど誰もが輝いた目で微笑んでくれ、会場全体が一体感であふれていた。

第一次世界大戦後の1920年、第一回世界スカウトジャンボリーが開催された。ベーデン・パウエルは、「このジャンボリーは平和の回復を宣言し、傷つき倒れたスカウトたちに敬意を表し、より良い国際関係の時代の幕を開くものです。」と宣言した。

ジャンボリーの目的は、世界中の国々から招かれた若者たちが一堂に会し、信頼を築き、互いの文化を理解しあい、国を超えた友情を築くことだった。ブラウンシー島での20人からスタートしたスカウティングから100年。通算1億人を超えるほどの世界的な運動となり、多くの実績を築いたことを知ることが出来た。人間同士の様々な紛争に対しての活動や地球環境を保護するための活動など、スケールの大きな新たなるスカウティングに挑戦していることを 21WSJの会場で知ることができ、新しい感動だった。

異文化を受け入れ理解し、そして世界を愛し、世界中の人々と友情を分かち合うことが自然にスムーズに出来るのが21WSJだった。時間を惜しんで積極的にプログラムやイベントに参加し交流したことは、自信となり大切な良い思い出となった。このような経験を一人でも多くの後輩に体験してもらいたい。四苦八苦して何とか作り上げたホームページで、うまく伝わるかわからないが、これからも努力して広報活動もしていきたいと思っている。

(プロジェクト報告書②)

3. プロジェクトに対して

① 反省

21WSJから受けた様々な思いが広範囲に膨らんでしまい、なかなかのを絞ることが出来ず、まとまりが悪くなってしまった。感動をより多くの人に伝えたいという思いだけでは、わかりやすい良いホームページをつくることは難しいことがわかった。技術的には勉強すれば何とかなるが、思いを伝える文章力は力不足と反省している。ブログやメールとは違い、正確なHPをつくるには綿密な取材と目的に合わせた写真を撮る必要があったのだけど、ジャンボリーを楽しむことに精一杯で資料不足になってしまった。プログラムや交流に夢中で、視点が違ったのかもしれない。また、交流は浅く広くなり、深める努力が不足していたと反省している。

② 評価

14NJでの経験が思いのほか 21WSJで役に立っていたと思う。即、他の隊に友達をつくり常に情報交換をして助け合うことで効率良くジャンボリーを楽しめることを学んでいた。今回は後輩といっしょに日本人スカウトよりも外国人スカウトとの交流に重点を置き行動したことは成功だった。格段に視野が広がった気がし満足している。スカウトとしての国際交流の要となる笑顔も素直に誰にでもつくれるようになれ、目的をとりあえず達成できたと思っている。

それを紹介しようと立ち上げたホームページは、お金を出来る限りかけないようにホームページビルダーなどを使用せず、コンピュータ章の細目に合わせ手間をかけて何とか自力で完成させることができ、満足している。コンピュータ章も西村ベンチャー隊長のバックアップのおかげで途中、諦めることなく取得することができ、隊長へ感謝すると共に自分では評価できることだと思っている。パソコンに向かうと予定外に時間がかかってしまい、途中で諦めてしまうことも多かった。最後までやり遂げられたことは自信につながったと感じている。

③ 感想と課題

内容盛りだくさんという感じのプロジェクトになってしまったようだが、そこにはB-Pの思いにも通じるスカウティングの信念のような筋が一本通っている気がして、広がっていくことを楽しむことが出来たように感じる。今までやってきたスカウティングの意味、今後やっていくべき意義を理解するプロジェクトだった。21WSJでみつけた新しい興味・・・スキューバダイビングとナショナルトラスト。特に後者は、富士山ナショナルトラストの存在を知ることができたので、是非参加してみたいと思っている。富士山の自然を保護し、出来れば世界遺産となってもらいたい。次回、朝霧で開催される日本ジャンボリーには奉仕隊として参加したいと思っているので、静岡県スカウトとして富士山を自慢できるよう、学び守っていくことが必要だと考えている。

イギリスのように自然環境を保護する活動は、アウトドアから学ぶことの多いボーイスカウトには大切な活動ではないかと思うので、自身のホームページでも紹介し呼びかけていきたい。そしてスカウトとして誇りに思える行動ができるよう努力していきたいし、同じような感動を分かち合える仲間を増やしていけたら素晴らしいことだろう。

(プロジェクト報告書③)

4. 個人の目標(資質の面)に対して

①反省

外国のスカウトの積極性、乗りの良さに対して、日本人はどうしてもおとなしく盛り上がり欠ける。恥ずかしがらず、もっと心を開放して真から楽しもうとしなければ、交流は深まらないと思う。特に夜のコンサートは、照れていたら周りもしらけてしまう。いっしょに盛り上がってこそ一体感が味わえるのだから・・・自分自身がんばったつもりだったが、外国・・・特にアメリカやラテン系の国のスカウトの乗り、自己アピールの凄さには遠く及ばない。もっと目立つ工夫をするべきだったと反省している。日本人の殻から脱皮するには、もう少し時間が必要だった。

②評価

会場全体の雰囲気にも乗せられ、180人ほどの外国スカウトにフレンドリーに声を掛け合いネッカーにサインをもらうことが出来、素晴らしい思い出になった。たくさんの国のスカウトと握手したり、ハグするたびに心が広がっていく感じがした。確実に度胸は付いたと思うし、自ら声をかけることに何の抵抗もなくなった。最初は意識的に努力していたことが、段々と無意識に出来るようになり、人種や言葉の違いが気にならなくなっていったことは、自分でも凄いことだと思っている。

③課題

21WSJで培った積極的なスカウティング活動を日本でも続けていきたい。世界平和や興味をもった自然環境保護の取り組みをしているナショナルトラストを通して、一スカウトとして何が出来るか考えていきたい。自分に未知なる能力があることを信じて・・・独立心を養い、真の地球人として、B-Pの望んだ平和な世界の実現に役立ちたい。

◇隊長の評価

21WSJに参加し、国内外の多くのスカウトとの交流を深めた事であり、その結果をホームページを自ら開設し紹介している。
この結果はビバーカブボーイの保護者に紹介し、子供をスカウト活動に継続させる動機付けとなっている。
今後も積極的なスカウティングを続けてもらう。

隊長名 西村 清矢